

〈特集「受動表現」「ヴォイスとその周辺」「アスペクト」「モダリティ」「所有・存在表現」〉

奈良田方言：

特集補遺データ「受動表現」「ヴォイスとその周辺」「アスペクト」「モダリティ」「所有・存在表現」

**The Narada dialect of Japanese:  
'Passive expression', 'Voice and related expressions', 'Aspect' 'Modality'  
and 'Expressions of possession and existence'**

阪上 健夫<sup>1</sup>, 小西 いずみ<sup>2</sup>, 三樹 陽介<sup>3</sup>, 吉田 雅子<sup>4</sup>  
**Takeo Sakagami, Izumi Konishi, Yosuke Miki, Noriko Yoshida**

<sup>1</sup> 東京大学大学院  
Graduate School of The University of Tokyo  
<sup>2</sup> 東京大学  
The University of Tokyo  
<sup>3</sup> 駒澤大学  
Komazawa University  
<sup>4</sup> 大正大学  
Taisho University

**要旨：**本稿は日本語奈良田方言のデータを提供し、特集補遺「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」(『語学研究所論集』第 14-18 号, 2009-2013, 東京外国語大学) に寄与するものである。

**Abstract:** This report contributes to the special cross-linguistic study on 'Passive expression', 'Aspect', 'Modality', 'Voice and related expressions' and 'Expressions of possession and existence' (*Journal of the Institute of Language Research* 14-18, 2009-2013, Tokyo University of Foreign Studies), providing data for the Narada dialect of Japanese.

**DOI:** <https://doi.org/10.15026/0002000398>

**キーワード：** 奈良田方言, ヴォイス, アスペクト, モダリティ, 所有・存在表現

**Keywords:** Japanese Narada dialect, Voice, Aspect, Modality, Expressions of possession and existence

## 1. はじめに

本稿では山梨県奈良田方言について記述する。奈良田は、山梨県南巨摩郡早川町の北端の集落である。奈良田方言は、単語アクセントにおいて上昇の有無と位置(上野 1989 の「上げ核」)を弁別特徴とするなど周囲の山梨西部方言と大きく異なるため「方言の島」とされ、山梨県の方言区画において山梨東部方言・山梨西部方言と並ぶ独立した区画を与えられてきた(吉田 2014: 53)。近年は奈良田方言話者の高齢化と減少がさらに進み、奈良田方言話者どうしが集落内で会話する場合でも奈良田方言を使わないことが増えている(小西 2021)。奈良田方言の記述的研究には、『奈良田の方言』(稲垣正幸・清水茂夫・深沢正志編 1957), 『西山村総合調査報告書』(西山村総合学術調査団編 1958) 第四編「言語」, 上野(1975, 1976, 1977, 1981), 小西ほか(2022)がある。また、資料としては『日本語地図』(国立国語研究所 1966-1974), 『方言文法全国地図』(国立国語研究所 1989-2006), DVD『方言の島 奈良田のことば』(地域資料デジタル化研究会 2013), 「日本の危機言語 語彙データ」(国立国語研究所; 以下「国語研語彙」)などがある。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

## 2. 本稿のデータ

本稿のデータは山梨県奈良田方言の話者の協力を得て行った調査に基づいている。調査ではこれまでの特集で使われてきた例文を奈良田方言に訳していただいた。話者は奈良田で生育し現在も在住の1934年生まれの男性 [M] と、1938年生まれの女性 [I] である。

回答形式は次のように示す。

1 行目：音調記号を付した音素表記。音素表記は小西ほか (2022) に準じる<sup>1</sup>。音調は [ で上昇を, ] で下降を示し, [[ で次のモーラのモーラ内上昇, ]] で前のモーラのモーラ内下降を示す。複数の文で成る場合は文末に「.」(ピリオド)を付す。

2 行目：形態素・語境界を付した音素表記。境界認定の基準は小西ほか (2022) に準じる。

3 行目：グロス。稿末「略号一覧」参照。

4 行目：日本語共通語訳。話者 ID [M], [I]。さらに ( ) 内に注記を加えることがある。

以下では「受動表現」に続けてそれに関連の深い「ヴォイスとその周辺」を先にとりあげ、その後に「アスペクト」「モダリティ」「所有・存在表現」について記す。

## 3. 受動表現 (語学研究所論集 第 14 号)

動詞の受動表現は接辞 *-re-ru*, *-rare-ru* で作られる。他動詞文の受動表現では、他動詞文の目的語が主格 =*ja* (1-5 など)、他動詞文の動作主が与格 =*ni* (1-1 など) で表される。1-9 の感情述語、1-10 の伝達述語の場合も動作主に奪格 =*kara* や向格 =*i* は用いにくい。1-2, 1-3 のような持ち主の受身文では、所有者兼被動作者が主格 (ただしここでは主題化)、被所有物兼対象が対格 =*o* (ここでは前接名詞と融合) で表される<sup>2</sup>。いわゆる迷惑の受身文も可能で、1-4 のように自動詞文の主格主語が与格=*ni* で表される。

### 1-1 A は B に叩かれた。【直接受身】

ta[ro]owa	ha[na]koni	buQsa[ra]aretoo
taroo=wa	hanako=ni	buQsara-are-too <sup>3</sup>
太郎=TOP	花子=DAT	叩く -PASS-PST

太郎は花子に叩かれた。[M]

### 1-2 A は B に足を踏まれた。【持ち主の受身, 体の部分】

ta[ro]owa	ha[na]koni	asjo[o	[hu]ndukera[re]too
taroo=wa	hanako=ni	asjoo	hun+duke-rare-too
太郎=TOP	花子=DAT	足.ACC	踏む+付ける -PASS-PST

太郎は花子に足を踏まれた (lit. 踏んづけられた)。[M]

<sup>1</sup> 奈良田方言では /t, d/ がそれぞれ [t ~ t̚], [d ~ d̚], /tu/ が [tu ~ tu ~ tsu], /du/ が [du ~ du ~ d̥zu] と実現し, /du/ と /zu/ [d̥u ~ d̥zu ~ zu] の対立があるなど, 日本語共通語とは異なる音韻・音声特徴を有する。詳しくは小西ほか (2022) の 2 節を参照。

<sup>2</sup> 1-7 でも「財布」が所有物と解され対格をとっている。話者 M は主格も可とする。

<sup>3</sup> buQsara の無標形 (非過去断定形) は buQsaroo (基底形/buQsaraw-u)。buQ は強意接頭辞に由来するが, /saraw-u/ 単独で「叩く」意は持たないため, ここでは形態素境界を付していない。以下も同様に, 共時的に分析できない語には形態素境界を付さない。

1-3 AはBに財布を盗まれた。【持ち主の受身，持ち物】

ta[ro]owa ha[na]koni [sa]ihuu nusuma[re]too[jo]  
 taroo=wa hanako=ni saihuu nusum-are-too=jo  
 太郎=TOP 花子=DAT 財布.ACC 盗む-PASS-PST=SFP  
 太郎は花子に財布を盗まれたよ。 [M]

1-4 昨日の夜，私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。【自動詞からの間接受身】

[ki]njoono jo[ru o]rjaa [a]kanbooni [na]kareto[o].  
 kinjoo=no joru orjaa akanboo=ni nak-are-too  
 昨日=GEN 夜 1.TOP 赤ん坊=DAT 泣く -PASS-PST  
  
 [so]rede na[n]boomo nemurenan[do]o[jo].  
 sorede nanboo=mo nemur-e-nandoo=jo  
 それで どれほど=ADD 眠る -POT-NEG.PST=SFP  
 きのうの夜，私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかったよ。 [M]

1-5 新しいビルが（Aによって）建てられた。【モノ主語受身，一回的】

[ni]isii bi[ru]ŋa {[ta]terare[toni]/[ta]tera[re]too[[jo]  
 niisi-i biru=ŋa {tate-rare-too=ni/tate-rare-too=jo}  
 新しい-NPST ビル=NOM {建てる-PASS-PST=SFP/建てる-PASS-PST=SFP}  
 新しいビルが建てられたよ。 [I]

1-6 カナダではフランス語が話されている。【モノ主語受身，恒常的，動作主が問題にならない場合】

ka[na]dadewa [hu]ransuŋa [ha]nasa[re]te iru  
 kanada=de=wa huransu+ŋo=ŋa hanas-are-te i-ru  
 カナダ=INS=TOP フランス+語=NOM 話す-PASS-SEQ CONT-NPST  
 カナダではフランス語が話されている。 [I]

1-7 財布が（Aに）盗まれた。【モノ主語受身，モノ主語の背後に被影響者が想定される】

[ga]manucjoo ta[ro]oni nusuma[re]toojo  
 gamanucjoo taroo=ni nusum-are-too=jo  
 がま口.ACC 太郎=DAT 盗む-PASS-PST=SFP  
 財布（lit. がま口）を太郎に盗まれたよ。 [M]

1-8 壁に絵が掛けられている。【モノ主語受身，結果状態の叙述】

[ka]beni jee[ŋa ka]kera[re]te iru  
 kabe=ni jee=ŋa kake-rare-te i-ru  
 壁=DAT 絵=NOM 掛ける-PASS-SEQ CONT-NPST  
 壁に絵がかけられている。 [I]

1-9 AはBに／から愛されている。【感情述語の受身、特に動作主のマーカ―に注目】

ta[ro]owa ha[na]koni [ho]reraretee[ru]jo  
 taroo=wa hanako=ni hore-rare-tee-ru=jo  
 太郎=TOP 花子=DAT 惚れる-PASS-CONT-NPST=SFP  
 太郎は花子に愛されている (lit. 惚れられている) よ。 [M] (hanako=kara [M] 不可, [I] 許容)

1-10 AはBに／から「…」と言われた。【伝達動詞の受身、特に動作主のマーカ―に注目】

ta[ro]owa ha[na]koni [ko]nciwaQte [ja]reto[o][[jo  
 taroo=wa hanako=ni konciwa=Qte ja-re-too=jo  
 太郎=TOP 花子=DAT こんにちは=QUOT 言う-PASS-PST=SFP  
 太郎は花子に「こんにちは」と言われたよ。 [M] (hanako=kara [M] 不可, [I] 許容)

1-10-a AさんはBさんに呼ばれて、今Bさんの部屋に行っています。【伝達動詞の受身】

ta[ro]owa ha[na]koni [jo]barete i[ma] ha[na]koŋa heja[i]  
 taroo=wa hanako=ni job-are-te ima hanako=ŋa heja=i  
 太郎=TOP 花子=DAT 呼ぶ-PASS-SEQ 今 花子=GEN 部屋=ALL  
  
 iQtee[ru][[jo  
 iQ-tee-ru=jo  
 行く-CONT-NPST=SFP  
 太郎は花子に呼ばれて、今花子の部屋に行っているよ。 [M]

1-10-b BさんがAさんを読んで、Aさんは今Bさんの部屋に行っています。【伝達動詞】

ha[na]kosanŋa ta[ro]osano [jo]baaQte i[ma] ha[na]kosanno [he]ja[i]  
 hanako-san=ŋa taroo-san=o jobaaQ-te ima hanako-san=no heja-i  
 花子-HCR=NOM 太郎-HCR=ACC 呼ぶ-SEQ 今 花子-HCR=GEN 部屋=ALL  
  
 [i]Qte[ru][[jo  
 iQ-te-ru=jo  
 行く-CONT-NPST=SFP  
 花子さんが太郎さんを読んで、今、花子さんの部屋へ行っているよ。 [I]

4. ヴォイスとその周辺 (語学研究所論集 第17号)

自動詞 ak-u (開く) と他動詞 ake-ru (開ける) は語根 ak を共有する対をなす (4-1a, b). 受身文 (4-1c) については3節で見たとおりである。「壊れる」を意味する自動詞 oe-ru があり、対になる他動詞 ojas-u (壊す) もある (4-1d).

4-1-a (風などで) ドアが開いた。【自動詞と他動詞の対立・自動詞による表現】

{[ka]zede/[ka]zeŋa hu[i]te} do[a]ŋa aito[o  
 {kaze=de/kaze=ŋa hui-te} doa=ŋa ai-too  
 {風=INS/風=NOM 吹く-SEQ} ドア=NOM 開く-PST  
 {風で/風が吹いて} ドアが開いた。 [I]

4-1-b (彼が) ドアを開けた。【自動詞と他動詞の対立・他動詞による表現】

[a]no	otokono	hito[ŋa]	{do[a]a/do[a]o}	aketoo
ano	otoko=no	hito=ŋa	{doaa/doa=o}	ake-too
あの	男=GEN	人=NOM	{ドア.ACC/ドア=ACC}	開ける-PST

あの男の人がドアを開けた。[I]

4-1-c (入り口の) ドアが開けられた。【自動詞と他動詞の対立・他動詞の受け身】

[i]riŋucino	toŋa	[a]kerareto[o]
iri+ŋuci=no	to=ŋa	ake-rare-too
入り+口=GEN	戸=NOM	開ける-PASS-PST

入り口の戸が開けられた。[M]

4-1-d ドアが壊れた。【自動詞と他動詞の対立】

[to]ŋa	o[e]too
to=ŋa	oe-too
戸=NOM	壊れる-PST

戸が壊れた。[M]

参考	ki[ka]io	tata[i]te	[o]jaita
	kikai=o	tatai-te	ojai-ta
	機械=ACC	叩く-SEQ	壊す-PST

機械を叩いて壊した。(国語研語彙より。表記改)

使役の場合は子音語幹動詞に -ase-ru, 母音語幹動詞に -sase-ru が付く。自動詞使役文の被使役者は、与格 =ni か対格 =o で表し、向格=i は用いられない (4-2, 4-4-a, b)。強制使役では対格 (4-2, 4-4-a) が用いられ、許可使役では与格・対格両方が可とされるが与格のほうが現われやすい (4-4-b)。他動詞の使役文の場合は、被使役者は与格で表され、対格=o は用いられない (4-3, 4-5-b)<sup>4</sup>。複他動詞 kise-ru (着せる) 文では動作者が被動作者 (与格) に直接に作用を及ぼすのに対し、他動詞使役 ki-sase-ru 文は動作者が自分で服を着る場合に使われる (4-5a, b)。

4-2 私は (自分の) 弟を立てさせた。【自動詞からの使役】

[o]rjaa	[zi]bunno	[o]tooto[o]	tata[se]ta
orjaa	zibun=no	otooto=o	tat-ase-ta
1.TOP	REFL=GEN	弟=ACC	立つ-CAUS-PST

私は自分の弟を立てさせた。[I]

<sup>4</sup> 4-4-a は自動詞使役文に目的節「パンを買いに」が挿入されている。この場合、被使役者と目的節の目的語とともに対格が現われる。

4-3 私は（自分の）弟に歌を歌わせた。【他動詞からの使役】

[o]rjaa	{sja[te]eni/[i]mooto[ni]}	uta[a]	utaaseto[o][j]o
orjaa	{sjatee=ni/imooto=ni}	utaa	uta-ase-too=jō
1.TOP	{弟=DAT/妹=DAT}	歌.ACC	歌う-CAUS-PST=SPF

私は {弟に/妹に} 歌を歌わせたよ。 [M]

4-4-a （遊びたがっている子供に無理やり）母は子供をパンを買いに行かせた。【強制使役】

oka[a]wa	kodomoo	pa[n]o	kaini	[i]kaseto[o][j]o
o-kaa=wa	kodomo=o	pan=o	kai=ni	ik-ase-too=jō
POL-母=TOP	子供=ACC	パン=ACC	買う=DAT	行く-CAUS-PST=SPF

母は子供をパンを買いに行かせたよ。 [M]

4-4-b （遊びに行きたがっているのを見て）母は子供に遊びに行かせた。【許可使役】

oka[a]san[wa	{ko]domoni/ko]domoo}	a]sobini	ikaseta
o-kaa-san=wa	{kodomo=ni/kodomo=o}	asobi=ni	ik-ase-ta
POL-母-HCR=TOP	{子供=DAT/子供=ACC}	遊び=DAT	行く-CAUS-PST

お母さんは {子供に/子供を} 遊びに行かせた。 [I]

4-5-a 私は弟に服を着せた。【他動詞による表現と自動詞の使役】

[o]rjaa	[o]tooto[ni]	hu[ku]o	kiseta
orjaa	otooto=ni	huku=o	kise-ta
1.TOP	弟=DAT	服=ACC	着せる-PST

私は弟に服を着せた。 [I]

4-5-b 私は弟にその服を着させた。【他動詞による表現と自動詞の使役】

[o]rjaa	[o]tooto[ni	so]no	hukuu	ki[saseta
orjaa	otooto=ni	sono	hukuu	ki-sase-ta
1.TOP	弟=DAT	その	服.ACC	着る-CAUS-PST

私は弟にその服を着させた。（弟が自分で服を着るという動作を行った場合） [I]

物の授与は jar-u, kure-ru で表され、これらは補助動詞として恩恵の授与を表すこともできる。4-6, 4-7-a, b に示すように、jar-u は与え手視点の場合にのみ用いられ、kure-ru は与え手視点、受け手視点の両方に用いることができる。ただし補助動詞用法における与え手視点の kure-ru は容認しにくいとする話者がある<sup>5</sup>。受け手が主語になる受納動詞として uke-ru が用いられ、恩恵の受納を表す補助動詞用法も持つ (4-7-c)。

<sup>5</sup> 小西ほか (2022: 117-118) は、クレルは「補助動詞としては補語視点での使用に偏り、主語視点ではヤルが使われる」としている。

4-6 私は弟にその本をあげた。【やりもらい、(話者から見ての)授恩恵と受恩恵の違い】

[o]rjaa	[o]tooto[ni	so]no	ho[N]o	{jaQta/kureta}
orjaa	otooto=ni	sono	hon=o	{jaQ-ta/kure-ta}
1.TOP	弟=DAT	その	本=ACC	{与える-PST/与える-PST}

私は弟にその本をやった。 [I]

4-7-a 私は弟に本を読んであげた。【やりもらい、(話者から見ての)授恩恵と受恩恵の違い】

[o]rjaa	[o]tooto[i]	ho[N]o	jon[de]	jaQto[o
orjaa	otooto=i	hon=o	jon-de	jaQ-too
1.TOP	弟=ALL	本=ACC	読む-SEQ	BEN-PST

私は弟に本を読んでやった。 [M] (jonde kuretoo は用いにくい)

[o]rjaa	[o]tooto[ni]	ho[N]o	jon[de	ku]reta
orjaa	otooto=ni	hon=o	jon-de	kure-ta
1.TOP	弟=DAT	本=ACC	読む-SEQ	BEN-PST

私は弟に本を読んでやった。 [I]

4-7-b 兄は私に本を読んでくれた。【やりもらい、(話者から見ての)授恩恵と受恩恵の違い】

ani[i]wa	[o]reni	ho[N]o	jon[de	ku]reta
anii=wa	ore=ni	hon=o	jon-de	kure-ta
兄=TOP	1=DAT	本=ACC	読む-SEQ	BEN-PST

兄は私に本を読んでくれた。 [I]

4-7-c 私は母に髪を切ってもらった。【テモラウ】

[o]rjaa	oka[a]sanni	kami[o]	kiQ[te	u]keta
orjaa	o-kaa-san=ni	kami=o	kiQ-te	uke-ta
1.TOP	POL-母-HCR=DAT	髪=ACC	切る-SEQ	BEN-PST

私はお母さんに髪を切ってもらった。 [I]

参考 manjo=kara hon=o uke-too=jo  
 孫=ABL 本=ACC もらう-PST=SPF  
 孫から本をもらったよ。(小西ほか 2022: 118)

身体部位を洗うという再帰的な動作は、他動詞 aroo/araw-u/を用い、身体部位を対格で表す(4-8)。自身に利益がある行為を行うことを表す特別な構文や述語形式はなく、あえてそのことを明示するなら「自分のために」などの副詞句で表す(4-9)。再帰代名詞には4-8-a, 4-9のように temae (temai とも) や zibun が使われる<sup>6</sup>。

<sup>6</sup> 4-8-a では調査項目の「(自分の)」部分も含めた文が得られたが、4-8-b, c からもうかがえるようにそれが必須なわけではない。

4-8-a 私は（自分の）体を洗った。【再帰】

[o]rjaa	{[zi]bunno/[te]ma[e]no}	karadaa	araQto[o]
orjaa	{zibun=no/temae=no}	karadaa	araQ-too
1.TOP	{REFL=GEN/REFL=GEN}	体.ACC	洗う-PST

私は自分の体を洗った。 [I]

4-8-b 私は手を洗った。【再帰】

[o]rjaa	te[o]	araQto[o]
orjaa	te=o	araQ-too
1.TOP	手=ACC	洗う-PST

私は手を洗った。 [M]

4-8-c 彼は手を洗った。【再帰】

[a]no	otoka[a]	{te[o	a]raQta/te[o]	araQto[o}
ano	otokaa	{te=o	araQ-ta/te=o	araQ-too}
あの	男.TOP	{手=ACC	洗う-PST/手=ACC	洗う-PST}

あの男は手を洗った。 [I]

4-9 （自分のために）私はその本を買った。【自利態】

[zi]bunno	tame[ni	o]rjaa	sono	ho[N]o	kaQto[o]
zibun=no	tame=ni	orjaa	sono	hon=o	kaQ-too
REFL=GEN	為=DAT	1.TOP	その	本=ACC	買う-PST

自分のために私はその本を買った。 [I]

「殴り合う」という相互行為については、/aw-u/（合う）を後部要素とする複合動詞と、-Qko という名詞化接辞による形式が得られた（4-10）。これらの生産性については不明である。共同で行為を行う場合には、minna iQsjoni（皆いっしょに）といった副詞句で表されている（4-11）。

4-10 彼らは（／その人たちは）（互いに）殴り合っていた。【相互】

[a]no	[o]tokosjuaa	[bu]QsaraiQ[ko]o	si]teeru[jo
ano	otoko-sjuaa	buQsarai-Qkoo	si-tee-ru=jo
あの	男-PL.TOP	殴る-RECP.NMNL.ACC	する-CONT-NPST=JO

あの男たちは互いに殴り合っているよ（lit. 殴りっこをしているよ）。 [M]

[so]no	hito[ta]cjaa	[na]njuriaQ[te]	{ita/ito[o}
sono	hito-tacjaa	nanjuri+aQ-te	{i-ta/i-too}
その	人-PL.TOP	殴る+合う-SEQ	{CONT-PST/CONT-PST}

その人たちは殴り合っていた。 [I]



4-11 その人たちは（みんな一緒に）街へ行った。【衆動】

[so]no	hito[da]cjaa	[mi]nna	[i]Qsjoni	{maci[e	i]Qta/maci[e]	iQto[o}
sono	hito-dacjaa	minna	iQsjo=ni	{maci=e	iQ-ta/maci=e	iQ-too}
その	人-PL.TOP	皆	一緒=COP.ADV LZ	{街=ALL	行く -PST/街=ALL	行く -PST}

その人たちは皆一緒に街へ行った。 [I]

自発は、可能と同じ -(r)e-ru か、-te simoo /-te simaw-u/ で表す。小西ほか (2022: 120) は、奈良田方言には「動詞語根-自発接辞 \*-a(a)sar-u」という語形成の kikaasar-u (聞こえる), ukasar-u (受かる) があるが、共時的にはこの自発接辞に生産性がないことを記している。

4-12 その映画は泣ける（その映画を見ると泣いてしまう）。【自発】

[ko]no	e[e]ɲawa	[na]keru[naa
kono	eeɲa=wa	nak-e-ru=naa
この	映画=TOP	泣く -POT-NPST=SEFP

この映画は泣けるな。 [M]

[ko]no	e[e]ɲaa	mi[re]ba	[nai]te	simoo[jo
kono	eeɲaa	mi-reba	nai-te	simoo=jo
この	映画=ACC	見る-COND	泣く-SEQ	PFV.NPST=SEFP

この映画を見れば泣いてしまうよ。 [M]

他動詞が表す動作が非意志的に起こったことを表す場合には、副詞句などでそれを補うか、-te hiQcimoo /-te hiQ-cimaw-u/ で表される。後者は 4-12 の自発文で用いられる /-te simaw-u/ の補助動詞部分に接頭辞 hiQ- が付いたものだが、両者に使い分けがあるのかは未確認である。

4-13-a 私は卵を割った。【意志／無意志】

[o]rjaa	tama[ɲo]o	waQto[o
orjaa	tamaɲo=o	waQ-too
1.TOP	卵=ACC	割る-PST

私は卵を割った。 [I]

4-13-b （うっかり落として）私はコップを割った／割ってしまった。【意志／無意志】

[o]rjaa	[ko]Qpuu	[wa]Qte	hiQcimaQto[o]jo
orjaa	koQpuu	waQ-te	hiQ-cimaQ-too=jo
1.TOP	コップ.ACC	割る-SEQ	EMPH-PFV-PST=SEFP

私はコップを割ってしまったよ。 [M]

[u]Qka[ri]	oto[i]te	[o]rjaa	{[ko]Qpuo	waQto[o/
uQkari	otoi-te	orjaa	{koQpu=o	waQ-too/
うっかり	落とす-SEQ	1.TOP	{コップ=ACC	割る-PST/

[ko]Qpuo      [wa]Qta/      [ko]Qpuo      [wa]Qte      [hi]QcimaQ[to]o}  
 koQpu=o      waQ-ta/      koQpu=o      waQ-te      hiQ-cimaQ-too}  
 コップ=ACC 割る-PST/      コップ=ACC 割る-SEQ      EMPH-PFV-PST}  
 うっかり落として私は {コップを割った/コップを割った/コップを割ってしまった}. [I]

可能は, 子音語幹動詞は -ee-ru または -e-ru, 母音語幹動詞は -re-ru または -rare-ru で表す (小西ほか 2022: 119-120). 4-14-a, b に示すように随意性による形式の使い分けはない<sup>7</sup>. 可能については 6 節 (モダリティ) も参照.

4-14-a きう私はコーヒを飲みすぎて (飲みすぎたので) 眠れなかった.

【随意の不可能と不随意の不可能】

[ki]njoo      [o]rjaa      [ko]ohi[i]o      {no[misu]njite/no[misu]njitoode}  
 kinoo      orjaa      koohii=o      {nomi+suji-te/nomi+suji-too=de}  
 昨日      1.TOP      コーヒ=ACC      {飲む+過ぎる-SEQ/飲む+過ぎる-PST=CSL}

nee[re]enandoojo  
 neer-ee-nandoo=j<sup>8</sup>  
 眠る-POT-NEG.PST=SFP

きう私はコーヒを {飲みすぎて/飲みすぎたから} 眠れなかったよ. [M]

[ki]njoo      [o]rjaa      [ko]ohi[i]o      {no[misu]njite/no[misu]njitoodoo[de]  
 kinjoo      orjaa      koohii=o      {nomi+suji-te/nomi+suji-too=doode}  
 昨日      1.TOP      コーヒ=ACC      {飲む+過ぎる-SEQ/飲む+過ぎる-PST=CSL}

{[ne]rena[ndoo/[ne]re[na]kaQtoo}  
 {ne-re-nandoo/ne-re-nakaQ-too}  
 {寝る-POT-NEG.PST/寝る-POT-NEG-PST}

きう私はコーヒを {飲み過ぎて/飲み過ぎたので} 寝られなかった. [I]

4-14-b きう私は仕事がたくさんあって (たくさんあったので) 眠れなかった.

【随意の不可能と不随意の不可能】

[ki]njoo      [o]rjaa      [sja]adana      ga[i]ni<sup>9</sup>      aQte      [ne]ere[na]ndoo[jo  
 kinjoo      orjaa      sjaada=na      gai=ni      aQ-te      neer-e-nandoo=j  
 昨日      1.TOP      仕事=NOM      多量=COP.ADV LZ      ある-SEQ      眠る-POT-NEG.PST=SFP  
 きう私は仕事がたくさんあって眠れなかったよ. [M]

<sup>7</sup> 小西ほか (2022: 119) は, 動作を可能/不可能にする条件による対立は明確でないものの, 子音語幹動詞において動作主的能力による場合は -ee-ru が, 外的状況によるばあいは -e-ru が用いられやすいとする.

<sup>8</sup> neer-u は \*ne+ir-u (寝入る) 由来の子音語幹動詞と判断している.

<sup>9</sup> gai=no sijoto (たくさん仕事), gai=doo (たくさんだ) とも言えることを確認済. gai は形容名詞 (いわゆる形容動詞語幹) である.

[ki]noo	[o]rjaa	[si]ŋotoŋa	ga[i]ni	{[a]Q[te/aQ[to]odoo[de]}
kinoo	orjaa	siŋoto=ŋa	gai=ni	{aQ-te/aQ-too=doode}
昨日	1.TOP	仕事=NOM	多量=COP.ADV LZ	{ある-SEQ/ある-PST=CSL}

ne]re[na]kaQta

ne-re-nakaQta

寝る-POT-NEG.PST

きのう私は仕事が多く {あつて/あつたので} 寝られなかった. [I]

主語の身体部位の一時的状態，恒常的状态とともに，身体部位を主格で標示する二重主語文によって表される。

4-15 私は頭が痛い. 【全体と部分・主体・一時的】

[o]rjaa	atama[ŋa]	ita[i]
orjaa	atama=ŋa	ita-i
1.TOP	頭=NOM	痛い-NPST

私は頭が痛い. [M]

4-16 彼女は髪が長い. 【全体と部分・主体・恒常的】

[a]no	onna[a	ke]ŋa	naŋa[i]
ano	onnaa	ke=ŋa	naŋa-i
あの	女.TOP	毛=NOM	長い-NPST

あの女は髪が長い. [M]

4-17のような他者の身体部位への動作は「身体部位の所有者=属格 身体部位=対格 他動詞」という構造で表される。所有者の人名詞句に付く属格には =no, =ŋa の2形がある。属格についてより詳しくは7節「所有・存在表現」を参照。

4-17-a 彼は(別の)彼の肩をたたいた. 【全体と部分・対象・接触/結果状態が瞬間的】

[a]no	otokono	hita[a	zi]roono	ka[taa]	tata[i]too
ano	otoko=no	hitaa	ziroo=no	kataa	tatai-too
あの	男=GEN	人.TOP	次郎=GEN	肩.ACC	叩く-PST

あの男の人は次郎の肩を叩いた. [I]

4-17-b 彼は(別の)彼の腕をつかんだ. 【全体と部分・対象・接触/結果状態が継続的】

[a]no	otoka[a]	zi[ro]ŋa	ude[o]	tukan[do]ojo
ano	otokaa	ziroo=ŋa	ude=o	tukan-doo=jo
あの	男.TOP	次郎=GEN	腕=ACC	つかむ-PST=SFP

あの男は次郎の腕をつかんだよ. [M]

視覚動詞 mi-ru, 知識動詞 sir-u の認識内容にあたる事態は，4-18-a のように名詞節や4-18-b のように「連体節+形式名詞」を対格で標示する。4-18-a にあるように奈良田方言では準体助詞を用いずに名詞

節を作ることができる。

4-18-a 私は彼がやって来るのを見た。【知覚構文】

[o]rjaa	[a]no	otoko[ŋa]	ku[ru]u	mi[to]ojo
orjaa	ano	otoko=ŋa	ku-ruu	mi-too=jo
1.TOP	あの	男=NOM	来る-NPST.ACC	見る-PST=SFP

私はあの男が来るのを見たよ。[M]

4-18-b 私は彼が今日来ることを知っている。【知覚構文】

[o]rjaa	[a]no	otoko[ŋa]	kjo[o]	ku[ru]	kotoo	siQtee[to]o <sup>10</sup>
orjaa	ano	otoko=ŋa	kjoo	ku-ru	koto=o	siQ-tee-too
1.TOP	あの	男=NOM	今日	来る-NPST	事=ACC	知る-CONT-PST

私はあの男が今日来ることを知っていた。[I]

4-19のように、思考動詞 omoo/omow-u/ の思考内容にあたる事態は、引用助詞 =to で標示される。引用節中の再帰代名詞 temae (または temai) は主節主語に照応している。

4-19 彼は自分(のほう)が勝つと思った。【引用文中の再帰】

[a]no	[o]tokono	hita[a	{te]ma[e]ŋa/te]maeno	[ho]o[ŋa]}	ka[tu]to	{omoQ[to]o/[o]moQ[ta]}
ano	otoko=no	hitaa	{temae=ŋa/temae=no	hoo=ŋa}	katu=to	{omoQ-too/omoQ-ta}
あの	男=GEN	人.TOP	{REFL=NOM/REFL=GEN	方=NOM}	勝つ=QUOT	{思う-PST/思う-PST}

あの男の人は{自分が/自分の方が}勝つと思った。[I]

動作が対象の全体に及ぶか一部に及ぶかは、4-20のように副詞句によって表し分けられる<sup>11</sup>。

4-20-a 私は(コップの)水(の一部)を飲んだ。【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

[o]rjaa	[ko]Qpuno	[mi]duu	[i]nmee	non[do]o[jo
orjaa	koQpu=no	miduu	inmee	non-doo=jo
1.TOP	コップ=GEN	水.ACC	少し	飲む-PST=SFP

私はコップの水を少し飲んだよ。[M]

4-20-b 私は(コップの)水を全部飲んだ。【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

[o]rjaa	[ko]Qpuno	mizuu	ze[n]bu	non[do]o
orjaa	koQpu=no	mizuu	zenbu	non-doo
1.TOP	コップ=GEN	水.ACC	全部	飲む-PST

私はコップの水を全部飲んだ。[M]

動詞の否定形は、4-21のような恒常的な否定文でも一回的な否定文でも用いられる。否定形は -noo が

<sup>10</sup> siQteetoo は「知っていた」にあたる。調査項目は非過去の文だが過去の文が得られた。

<sup>11</sup> 4-20-b において日本語共通語の「飲みきる」「飲み干す」などの複合動詞構造が可能かもしれないが、未確認。

一般的で -na-i は新しい形式と思われる。ほかに -nu がある（小西ほか 2022: 114）。

4-21 彼は肉を食べない。【恒常的な否定文】

[a]no	otokono	hita[a	{ni]ku[u/ni]ku[o}	{ka]na[i/ka]noo} <sup>12</sup>
ano	otoko=no	hitaa	{nikuu/niku=o}	{ka-na-i/ka-noo}
あの	男=GEN	人.TOP	{肉.ACC/肉=ACC}	{食う-NEG-NPST/食う-NEG.NPST}

あの男の人は肉を食わない。 [I]

4-22 の感覚述語「寒い」文では，主体を明示しない文（a），主体を主題で表す文，主体を与格主題で表す文（b）が可能とのことである。与格主題は対比性を帯びるのではないかと推測されるが，確認不十分である。4-23 の感情述語「驚く」文では，理由を中止節 -te で表し 1 人称主語を明示しない文と，調査文の逐語訳的な文が得られた。前者が自然なのではないかと推測される。

4-22-a 今日寒い。【感覚述語・非人称文／感覚主体の存在が感じられない，より客観的な表現】

kjo[o]wa	sabu[i
kjoo=wa	sabu-i
今日=TOP	寒い-NPST

今日は寒い。 [M]

4-22-b 私は（何だか）寒い（私には寒く感じる）。【感覚述語・非人称文／斜格主語】

[o]rjaa	na[n]do]oka	sabu[i
orjaa	nan=doo=ka	sabu-i
1.TOP	何=COP.NPST=Q	寒い-NPST

私は何だか寒い。 [M]

[o]renja[a]	sa[bu]ku	ka]nziru]jo
ore=njaa	sabu-ku	kanzi-ru=jo
1=DAT.TOP	寒い-ADV LZ	感じる-NPST=SFP

私には寒く感じるよ。 [M]

4-23 人がとても多かったことに私は驚いた。【感覚述語・非人称文／斜格主語】

hito[n]a]	ga[i]ni	ite	[o]beeto[o]jo
hito=n]a]	gai=ni	i-te	obee-too=jo
人=NOM	多量=COP.ADV LZ	いる-SEQ	驚く -PST=SFP

人が多くいて驚いたよ。 [M]

[hi]ton]a]	ga[i]ni	o[o]kaQta	koto[ni	o]rjaa	[o]beeto[o
hito=n]a]	gai=ni	ookaQ-ta	koto=ni	orjaa	obee-too
人=NOM	多量=COP.ADV LZ	多い-PST	事=DAT	1.TOP	驚く -PST

人がたいそう多かったことに私は驚いた。 [I]

<sup>12</sup> ka-noo の動詞語幹は /kuw-/ /kuw-noo/ > /kuwa-noo/ (kuwa は否定接辞後続時の語幹異形態) > kanoo

話し手が経験した事態を表す、いわゆる現象文にあたる 4-24 では、名詞「雨」を主格で標示し、動詞「降る」の開始の局面を *-das-u* (出す) を後部要素とする複合動詞構造で表している。

4-24 雨が降り始めた。【現象文・現場での直接体験】

a[me]ŋa	hu[ri]daitoojo
ame=ŋa	huri+dai-too=jo
雨=NOM	降る+出す-PST=SFP
雨が降り出したよ。[M]	

4-25 は、名詞「本」を主題とし自動詞 *ure-ru* (売れる) で表される。

4-25 この本はよく売れる。【中間構文】

[ko]no	ho[n]wa	jo[ku	u]reru
kono	hon=wa	joku	ur-e-ru
この	本=TOP	よく	売る-POT-NPST
この本はよく売れる。[I]			

5. アスペクト (語学研究所論集 第 15 号)

動詞のテンスの対立は *-ru* (非過去), *-too*, *-ta* (過去) で表される。アスペクトの基本的な対立は, *-ru* (非継続), *-te i-ru*, *-te(e)-ru* (継続) で表される。*-te i-ru* とその縮約形 *-te(e)-ru* は, 2-11 のような進行も, 2-2 や 2-12 のような結果状態の継続も表す。

*-too*, *-ta* は上述のように基本的にはテンスとしての過去を表すが, 2-1 のように完結相も表す。2-2 のように *-te i-ru*, *-te(e)-ru* を使うと効力の継続 (いわゆるパーフェクト) を表し, この文では発話時に主体が存在することを含意する。

2-1 ~さん (固有名詞) は/あの人はまだ来た。【自動詞の完結相~パーフェクト】

{ta[ro]osanwa/	ano	hita[a]}	ha[i]	ki[too
{taroo-san=wa/	ano	hitaa}	hai	ki-too
{太郎-HCR=TOP/	あの	人.TOP}	もう	来る=PST
{太郎さんは/あの方は} もう来た。[I]				

2-2 ~さん (固有名詞) は/あの人はまだ来ている。【自動詞のパーフェクト】

{ta[ro]owa/[a]no	hita[a]}	ha[i]	ki[tee]rujo
{taroo=wa/ano	hitaa}	hai	ki-tee-ru=jo
{太郎=TOP/あの	人.TOP}	もう	来る-CONT-NPST=SFP
{太郎は/あの方は} もう来ているよ。[M]			

完結相の否定 (2-3) は, *-te i-ru*, *-te(e)-ru* の否定形 *-cjaa i-noo* で, 現在の否定 (2-4) は *-ru* の否定形 *-noo* で表す。*-cjaa i-noo* の *-cjaa* は *-te=wa* の縮約形だが, この形が慣用化しており, *\*-te i-noo* という形は用いられない。

2-3 ～さん（固有名詞）は／あの人はまだ来ていない。【完結相の否定】

{ta[ro]osanwa/ano	hita[a]}	ma[da]	ki[cja]a	inoo
{taroo-san=wa/ano	hitaa}	mada	ki-cjaa	i-noo
{太郎-HCR=TOP/あの	人.TOP}	まだ	来る-SEQ.TOP	CONT-NEG.NPST

{太郎さんは/あの人は} はまだ来ていない (lit. 来てはいない). [I]

2-4 ～さん（固有名詞）は／あの人はまだ来ない。【現在の否定】

{ta[ro]owa/	[a]no	hita[a]}	ma[da]	ko[no]o
{taroo=wa/	ano	hitaa}	mada	ko-noo
{太郎=TOP/	あの	人.TOP}	まだ	来る-NEG.NPST

{太郎は/あの人は} まだ来ない. [M]

近未来は，非過去形 -ru で表し，副詞（2-5 では zikito）でその意味を補う。

2-5 ～さん（固有名詞）は／あの人はもう（すぐ）来る。【近未来】

ta[ro]owa	[zi]kito	ku[ru]jo
taroo=wa	zikito	ku-ru=jo
太郎=TOP	すぐ	来る-NPST=SFP

太郎はもうすぐ来るよ. [M]

過去接辞 -too, -ta とともに，2-6 のような発見でも用いられる。

2-6 （あ！）～さんが来た！【発見】

ta[ro]osanŋa	{ki[ta/ki[to]o[[jo}
taroo-san=ŋa	{ki-ta/ki-too=jo}
太郎-HCR=NOM	{来る-PST/来る-PST=SFP}

太郎さんが {来た/来たよ}. [I]

現在と切り離された過去の肯定形は -too が基本で -ta も同様に使われる。その否定形は -nandoo がもっとも一般的で，過去の否定形は他に -nanda, -nakaQ-ta もある（小西ほか 2022: 114）。

2-7 昨日～さんが来たよ。【現在と切り離された過去】

[ki]njoo	ta[ro]osanŋa	ki[to]o[[jo
kinjoo	taroo-san=ŋa	ki-too=jo
昨日	太郎-HCR=NOM	来る-PST=SFP

きのう太郎さんが来たよ. [I]

2-8 昨日～さんは来なかったよ。【現在と切り離された過去（否定）】

[ki]njoo	ta[ro]owa	ko[nan]dooni
kinjoo	taroo=wa	ko-nandoo=ni
昨日	太郎=TOP	来る-NEG.PST=SFP

昨日太郎は来なかったよ. [M]

kuu/kuw-u/ (食う・食べる) のような活動動詞の他動詞でも, 過去形 -too がパーフェクト, 非継続否定形 -noo, 継続否定形 -cjaa i-noo がその否定を表すために用いられる (2-9, 2-10). 動作の進行は継続形 -te i-ru, -te(e)-ru のほか, 形式名詞 tokoro や名詞 saicjuu (最中) によるコピュラ文でも表すことができる (2-11).

2-9 (私は) あのリンゴをもう食べた. 【他動詞のパーフェクト】

[o]rjaa	[a]no	[ri]ŋŋo[o]	ha[i]	kuQ[to]jo
orjaa	ano	riŋŋo=o	hai	kuQ-too=jo
1.TOP	あの	リンゴ=ACC	もう	食う-PST=SPF

私はあのリンゴをもう食べたよ. [M]

2-10 私はあのリンゴをまだ食べていない. /私はあのリンゴをまだ食べない.

【他動詞のパーフェクトの否定】

[o]rjaa	[a]no	[ri]ŋŋo[o]	ma[da]	{ka[no]o[[jo/
orjaa	ano	riŋŋo=o	mada	{ka-noo=jo/
1.TOP	あの	りんご=ACC	まだ	{食う-NEG.NPST=SPF/

  

kuQ[cja]a	inoo}
kuQ-cjaa	i-noo}
食う-SEQ.TOP	CONT-NEG.NPST}

私はあのリンゴをまだ {食べないよ/食べていない}. [I]

2-11 あの人は今 (ちょうど) そのリンゴを食べています/食べているところです. 【現在進行】

[a]no	hitaa	[cjo]odo	i[ma	ri]ŋŋo[o]
ano	hitaa	cjoodo	ima	riŋŋo=o
あの	人.TOP	ちょうど	今	リンゴ=ACC

  

{kuQ[tee]ru/	kuQ[tee]ru	to[koroda/	kuQ[tee]ru	sa[icju]uda[na}
{kuQ-tee-ru/	kuQ-tee-ru	tokoro=da/	kuQ-tee-ru	saicjuu=da=na}
{食う-CONT-NPST/	食う-CONT-NPST	ところ=COP/	食う-CONT-NPST	最中=COP=SPF}

あの人はちょうど今リンゴを {食べている/食べているところだ/食べている最中だ}. [M]

到達動詞 ak-u (開く) では, -te i-ru, -te(e)-ru が結果状態の継続を表す (2-12).

2-12 窓が開いている/窓が開いていた. 【対象物を主語とした結果状態】

ma[do]ŋa	aitee[ru
mado=ŋa	ai-tee-ru
窓=NOM	開く-CONT-NPST

窓が開いている. [M]



ma[do]ŋa      [a]iteeto[o]ni  
 mado=ŋa      ai-tee-too=ni  
 窓=NOM      開く-CONT-PST=SFP  
 窓が開いていたよ。 [I]

現在の習慣を表す 2-13 では非継続形・継続形ともに可能である。過去の習慣を表す 2-15 では継続過去形 *-te i-too* が用いられる。2-14 では *ni-ru* (似る) の継続形が用いられる。

2-13 私は毎朝新聞を読む／読んでいる。【習慣】

[o]rjaa      ma[i]nici      [si]nbuno      {jo[mu]jo/jo[n]deeru[jo}  
 orjaa      mainici      sinbun=o      {jom-u=jo/jon-dee-ru=jo}  
 1.TOP      毎日      新聞=ACC      {読む-NPST=SFP/読む-CONT-NPST=SFP}  
 私は毎日、新聞を {読むよ/読んでいるよ}。 [M]

2-14 あなたは (あなたの) お母さんに似ている。【開始時点の不明瞭な状態】

o[i]sjaa      oka[a]ni      [ni]tee[ru]na  
 oisjaa      o-kaa=ni      ni-tee-ru=na  
 2.TOP      POL-母=DAT      似る-CONT-NPST=SFP  
 あなたはお母さんに似ているな。 [M]

2-15 私はその頃毎日学校に通っていた。【過去の習慣】

[o]rjaa      sono      koro      ma[i]nici      ga]Qkooni      ka]joQte      ito[o  
 orjaa      sono      koro      mainici      gaQkoo=ni      kajoQ-te      i-too  
 1.TOP      その      頃      毎日      学校=DAT      通う-SEQ      CONT-NPST  
 私はそのころ毎日学校に通っていた。 [I]

経験を表す 2-16 では日本語共通語の「～たことがある」と同じ構造が用いられる。

2-16 私は～に (大きな街の名前など) 行ったことがある。【経験】

[o]rjaa      [to]okjoosa      iQto[o      ko]tonja      a[ru]jo  
 orjaa      tookjoo=sa      iQ-too      koto=ŋa      ar-u=jo  
 1.TOP      東京=ALL      行く-PST      こと=NOM      ある-NPST=SFP  
 私は東京に行ったことがあるよ。 [M]

起動相は *das-u* (出す) を後部要素とする複合動詞構造が用いられる。また、長時間の動作継続も、継続形で表される (2-18)。

2-17 やっとバスは走り出した／走り始めた。【起動相】

jo[i]Qsa      ba[su]wa      [ha]sirida[i]too[jo  
 joiQsa      basu=wa      hasiri+dai-too=jo  
 やっと      バス=TOP      走る+出す-PST=SFP  
 やっとバスは走り出したよ。 [I]

2-18 昨日彼女はずっと寝ていた。【長時間継続】

[ki]njoo	[a]no	[o]nna[ko]wa	[zu]uQto	[ne]eQ[te]	{ita/ito[o][jo]}
kinjoo	ano	onna+no+ko=wa	zuuQto	neeQ-te	{i-ta/i-too=jo}
昨日	あの	女+GEN+子=TOP	ずっと	眠る-SEQ	{CONT-PST/CONT-PST=SFP}

きのうあの女の子はずっと眠っていたよ。 [I]

2-19 の試行は-te mi-ru という補助動詞構造で表される。2-20 の「分け与えた」にあたる述語として wake-te jaQ-ta という補助動詞構造が得られたが、この jar-u は「与える」という実質動詞ではなく、4 節でみた恩恵の授与を表す補助動詞用法だと思われる。

2-19 私はそれをちょっと食べてみた。【(軽度の) 試行】

[o]rjaa	[so]rjoo	[i]nmee	kuQ[te]	mi[to]o[jo]
orjaa	so[r]joo	inmee	kuQ-te	mi-too=jo
1.TOP	それ.ACC	少し	食う-SEQ	見る-PST=SFP

私はそれを少し食べてみたよ。 [I]

2-20 あの人はそれ(ら)をみんなに分け与えた。【多方向への客体的分配】

[a]no	hita[a	so]rjoo	[mi]nna[ni]	wa[ke]te	jaQto[o]
ano	hitaa	so[r]joo	minna=ni	wake-te	jaQ-too
あの	人.TOP	それ.ACC	みんな=DAT	分ける-SEQ	BEN-PST

あの人はそれをみんなに分けてやった。 [I]

2-21 では非継続・非過去形の-ru に終助詞 =jo, ni, ka が付いた形、または、勧誘を表す -zaa 形が用いられる。終助詞付きの形のうち、=jo, ni は平叙文で、聞き手に対して一方的に未来の行為を伝える文、=ka は疑問文で、聞き手の意向を問う文と言える。

2-21 さあ、(私たちは) 行くよ！【近未来の勧誘】

sa[a	{[i]ku[jo]/[i]kuni/[i]kuka/[i]kazaa}
saa	{ik-u=jo/ik-u=ni/ik-u=ka/ika-zaa}
さあ	{行く-NPST=SFP/行く-NPST=SFP/行く-NPST=Q/行く-HOR}

さあ、{行くよ/行くよ/行くか/行こう}。 [M]

恒常的真理を表す 2-22 でも、継続形 -tee-ru が得られた。

2-22 地球は太陽の周りを回っている。【恒常的真理】

ci[kju]uwa	ta[i]joono	[ma]arjoo	[ma]aQtee[ru]jo
cikjuu=wa	taijoo=no	ma[r]joo	maaQ-tee-ru=jo
地球=TOP	太陽=GEN	まわり.ACC	回る-CONT-NPST=SFP

地球は太陽のまわりを回っているよ。 [M]

将然相の 2-23 では日本語共通語「-そうだ」に対応する -soo=doo が用いられる。開始直前のアスペク

トだけでなく，視覚等の証拠にもとづく推測を表すモダリティ形式でもある．過去の未遂に終わった将然相を表す 2-24 では形式名詞 *toko* によるコピュラ文が得られたが，*-soo=doo* も可能かどうかは未確認である．2-25 準備は，補助動詞構造 *-te ok-u* によって表す．

2-23 あの木は今にも倒れそうだ．【将然相】

[a]no	kja[a]	i[maa]nimo
ano	kjaa	imaa=ni=mo
あの	木.TOP	今=DAT=ADD

{buQ[koro]bisoodoojo/[ko]robisoo[do]ojo/buQ[ka]arisoodoo[jo]}<sup>13</sup>  
 {buQ-korobi-soo=doo=jo/korobi-soo=doo=jo/buQkaari-soo=doo=jo}  
 {EMPH-倒れる-PRSM=COP.NPST=SFP/倒れる-PRSM=COP.NPST=SFP/倒れる-PRSM=COP.NPST=SFP}  
 あの木は今にも {倒れそうだよ (lit. ぶっ倒れそうだよ) /倒れそうだよ/倒れそうだよ} [M]

2-24 (私は) あやうく転ぶところだった．【将然相—未遂】

[o]rjaa	[a]bunaku	[ko]robu	toko[da]Qtoo
orjaa	abunaku	korob-u	toko=daQ-too
1.TOP	あやうく	転ぶ-NPST	ところ=COP-PST

私はあやうく転ぶところだった． [M]

2-25 明日客が来るので，パンを買っておく．【準備】

[a]sitaa	[kja]kuŋa	ku[ru]de	pa[n]jo	ka]Qte	okuka
asitaa	kjaku=ŋa	ku-ru=de	pan=o	kaQ-te	ok-u=ka
明日.TOP	客=NOM	来る-NPST=CSL	パン=ACC	買う-SEQ	置く-NPST=Q

明日客が来るので，パンを買っておくか． [M]

2-26 では従属節の事態は，主節事態より前に生起しているが，ともに過去 *-too* で表されている．2-27 のように従属節を「非過去形+{toki/ori/mae}ni」という構造にすると，主節事態よりも前に生起したことを表す．2-28 の引用節内で過去形は主節事態よりも前に生起したことを表す．

2-26 (私は) ～に (街とか市場とか) 行ったとき，この袋を買った．

【絶対的テンスの言語における時制の一致／相対テンス】

[o]rjaa	[to]okjoo	iQto[o]	tokini	[ko]no	hukuu	kaQto[o]doo[jo]
orjaa	tookjoo=ni	iQ-too	toki=ni	kono	hukuu	kaQ-too=doo=jo
1.TOP	東京=DAT	行く-PST	とき=DAT	この	服.ACC	買う-PST=COP.NPST=SFP

私は東京に行ったとき，この服を買ったんだよ． [M]

2-27 (私は) ～に (街とか市場とか) 行く時／行く前に，この袋を買った．

【絶対的テンスの言語における時制の一致／相対テンス】

<sup>13</sup> korobu 単独で「倒れる」意味で用いることができるが，buQkorobu とするほうが多い．kaaru は単独では使えない．

[o]rjaa	[to]okjoo <i>ni</i>	[i]ku	{toki[ni]/o[ri]ni/ma[e]ni}	[ko]no	hukuro[o]
orjaa	tookjoo=ni	ik-u	{toki=ni/ori=ni/mae=ni}	kono	hukuro=o
1.TOP	東京=DAT	行く	{時=DAT/時=DAT/前=DAT}	この	袋=ACC

{ka]Qta/ka]Qto[o}

{kaQ-ta/kaQ-too}

{買う-PST/買う-PST}

私は東京に行く {時に/時に/前に} この袋を買った. [I]

2-28 (私は) 彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた. 【時制の一致】

[o]rjaa	[a]no	otoko[ŋa]	i[ci]bade	[ko]no	hukuro[o]	kaQto[o]o
orjaa	ano	otoko=ŋa	iciba=de	kono	hukuro=o	kaQ-too=o
1.TOP	あの	男=NOM	市場=INS	この	袋=ACC	買う-PST=ACC

siQte ito[o]jo

siQ-te i-too=jo

知る-SEQ CONT-PST=SFP

私はあの男が市場でこのふくろを買ったのを知っていたよ. [M]

[o]rjaa	[a]no	otoko[ŋa]	i[ci]ba[de]	kono	hukuro[o]
orjaa	ano	otoko=ŋa	iciba=de	kono	hukuro=o
1.TOP	あの	男=NOM	市場=INS	この	袋=ACC

kaQto[o]ja[tu]u<sup>14</sup> {mi[ta/siQ[te] i[ru]}

kaQ-too=jatu=o {mi-ta/siQ-te i-ru}

買う-PST=NMNL.ACC {見る-PST/知る-SEQ CONT-NPST}

私はあの男が市場でこの袋を買ったのを {見た/知っている}. [I]

6. モダリティ (語学研究所論集 第16号)

3-1 の許可は -temo jo-i, 3-2 の禁止は -cjaa {ike-noo/dame=COP}, -(r)u=zjaa na-i, 3-3 の義務は -naiba {nara-noo/ike-noo/dame=COP} のように命題的な表現で表される. 禁止には接辞 -cjo による屈折形もある<sup>15</sup>. 義務には [否定仮定形=コピュラ] -naiba=COP, -deecjaa=COP も用いられる.

3-1 (その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ. 【許可】

[so]no	sinotoŋa	[o]waQta[ra]	i[ma	ka]eQ[te]mo	jo[i]jjo
sono	sinoto=ŋa	owaQ-tara	ima	kaeQ-temo	jo-i=jjo
その	仕事=NOM	終わる-COND	もう	帰る-CONC	良い-NPST=SFP

その仕事が終わったら, もう帰ってもいいよ. [I]

<sup>14</sup> jatu が準体助詞のように用いられている.

<sup>15</sup> -cjo の丁寧な形として -cjonna, -cjode がある (小西ほか 2022: 103-104, 小西 2022).

3-2 (腐っているから，あなたは) それを食べてはいけない／それを食べるな。【禁止】

kusaQ[te]erude                      [so]reo                      kuQ[cja]a  
 kusaQ-tee-ru=de                      sore=o                      kuQ-cjaa  
 腐る-CONT-NPST=CSL                      それ=ACC                      食う-SEQ.TOP

{[i]kenoo[jo]}/dame[da][jo]  
 {ik-e-noo=jo/dame=da=jo}  
 {行く-POT-NEG.NPST=SFP/駄目-COP.NPST=SFP}  
 腐っているから，食べては {いけないよ/駄目だよ}。 [M]

[ku]saQ[te                      i]rudo[o]de                      o[i]sjaa                      [so]rjoo                      kuQ[cjo  
 kusaQ-te                      i-ru=doode                      oisjaa                      sorjoo                      kuQ-cjo  
 腐る-SEQ                      CONT-NPST=CSL                      2.TOP                      それ.ACC                      食う-PROH  
 腐っているので，あなたはそれを食べるな。 [I]

参考    kak-u=zjaa    na-i=jo  
          書く-NPST=COP.ADV LZ.TOP                      NEG-NPST=SFP  
          (ここには何も) 書くんじゃないよ。(小西 2022)

3-3 (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない。【義務】

[o]soku                      naQ[to]odoo[de]                      ura[a]                      i[ma]                      kaera[na]iba                      nara[no]o  
 oso-ku                      naQ-too=doode                      uraa                      ima                      kaera-naiba                      nara-noo  
 遅い-ADV LZ                      なる-PST=CSL                      1.PL.TOP                      もう                      帰る-NEG.COND                      なる-NEG.NPST  
 遅くなったので，私たちはもう帰らなければならない。 [I]

参考    uraŋa                      ee=de=mo                      ki=o                      take-naiba=doo=jo  
          1.PL=GEN                      家=INS=ADD                      気=ACC                      つける-NEG.COND=COP.NPST=SFP  
          (隣に泥棒が入ったなら) 私たちの家でも気をつけなければならないよ (lit. つけなければだよ)。 (小西ほか 2022: 127)

3-4 の推奨は過去形 -too に hoo=ŋa jo-i, 3-5 の評価的義務は非過去形 -(r)u に hoo=ŋa jo-i を付けて形容詞によって表す<sup>16</sup>。評価的義務は非過去形 -(r)u に mon=doo を付けて表すこともある。

3-4 (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ。【推奨】

a[me]ŋa                      [hu]risoo[do]ode                      ka[sa]a                      moQ[te]                      bun[da]itoo  
 ame=ŋa                      huri-soo=doo=de                      kasaa                      moQ-te                      bun-dai-too  
 雨=NOM                      降る-PRSM=COP.NPST=CSL                      傘.ACC                      持つ-SEQ                      EMPH-出す-PST

<sup>16</sup> 評価的義務では過去形 -ta に hoo=ŋa jo-i が付く例も得ているが，非過去形のほうが自発的に用いられやすい。また，推奨における -(r)u hoo=ŋa jo-i の容認度は未確認だが，これまで得た複数の例で自発的に過去形が用いられている。

ho[oŋa] jo[i][jo]  
 hoo=ŋa jo-i=jo  
 方=NOM 良い-NPST=SFP  
 雨が降りそうだから、傘を持って出かけたほうがいいよ。 [I]

3-5 歳をとったら、子供の言うことを聞くべきだ／聞くものだ。【評価的義務】

[to]sjo[o]	to[re]ba	[ko]domono	juu	koto[o
tosjoo	tor-eba	kodomo=no	ju-u	koto=o
年.ACC	とる-COND	子供=GEN	言う-NPST	こと=ACC

  

{ki}ku	ho[oŋa	jo[i][jo/[ki]ku	mon[do]o[na}
{kik-u	hoo=ŋa	jo-i=jo/kik-u	mon=doo=na}
{聞く-NPST	方=NOM	良い-NPST=SFP/聞く-NPST	もの=COP.NPST=SFP}

年をとったら、子供の言うことを {聞く方がいいよ/聞くものだな}。 [M]

3-6 の希望は形容詞の活用をする接尾辞 -ta-i で表される。

3-6 お腹が空いたので、(私は) 何か食べたい。【希望】

hara[ŋa]	heQto[o]doode	[o]rjaa	na[ni]oka	[ku]ita[i
hara=ŋa	heQ-too=doode	orjaa	nani=o=ka	kui-ta-i
腹=NOM	減る-PST=CSL	1.TOP	何=ACC=Q	食う-OPT-NPST

腹が減ったので、私は何か (lit. 何をか) 食べたい。 [I]

1人称の意志を表す 3-7 では非過去形 -(r)u の終助詞付加形、意志形 -zu やそれに疑問助詞を付加した -su=ka, ほかに -aa 形が使われる<sup>17</sup>。勧誘では 3-8, 3-9 にあるように相手の意向が不明の場合もそうでない場合も -zaa が用いられる。相手の意向が不明の場合には -de=ka も用いられる。-de は古語の未然形接続・否定の「で」と同源と推測し、否定中止 (NEG.SEQ) とする<sup>18</sup>。後述のように懇願 (依頼) にも用いられる。

3-7 私が持ちましょう。【意志】

[o]reŋa	{motu[[jo/mota[su]ka/motaa}
ore=ŋa	{mot-u=jo/mota-su=ka/mot-aa}
1=NOM	{持つ-NPST=SFP/持つ-VOL=Q/持つ-VOL}

私が {持つよ/持とうか/持とう}。 [M]

[o]reŋa	moQ[te]Qte	jaraa
ore=ŋa	moQ-teQ-te	jar-aa
1=NOM	持つ-SEQ.行く-SEQ	BEN-VOL

私が持って行ってやろう。 [I]

<sup>17</sup> -su は -zu の異形態であり、後続が=ka の時に用いられやすい (小西ほか 2022: 132)。-aa は未詳。非過去 -(r)u と終助詞 =wa の融合形である可能性がある。ここでは暫定的に意志 (VOL) とした。

<sup>18</sup> 清水 (1957: 97) 参照。小西ほか (2022) は -de=ka には触れていない。

参考 sono kasjoo oisi=ni kure-zu  
 その 菓子.ACC 2=DAT 与える-VOL  
 その菓子をあなたにやろう。(小西ほか 2022: 132)

3-8 じゃあ，一緒に昼ご飯を食べましょう。【勧誘】

[so]o[zja]a iQsjoni [hi]rumesio ka[za]a  
 soo=zjaa iQsjo=ni hiru+mesi=o ka-zaa  
 そう=COP.COND 一緒=COP.ADV LZ 昼+飯=ACC 食う-HOR  
 じゃあ (lit. そうじゃあ)，一緒に昼飯を食おう。 [I]

3-9 一緒に昼ご飯を食べませんか？【相手の意向が不明な場合の勧誘】

[i]Qsjoni [hi]rumesjoo ka[za]a  
 iQsjoni hiru+meshoo ka-zaa  
 一緒=COP.ADV LZ 昼+飯.ACC 食う-HOR  
 一緒に昼飯を食おう。 [M] [I]

[i]Qsjoni [hi]rumesjoo ka[de]ka  
 iQsjoni hiru+meshoo ka-de=ka  
 一緒=COP.ADV LZ 昼+飯.ACC 食う-NEG.SEQ=Q  
 いっしょに昼飯を食わないか。 [I]

3-10 の希望は，補助形容詞 hosi-i (例文略)，受納動詞 uke-ru の補助動詞用法に接尾辞 -ta-i を付けて表す。ほかに評価的な表現 -reba jo-i も用いられる。

3-10 明日，良い天気になるといいなあ。／明日は良い天気になってほしいなあ。【希望】

[a]sitaa jo[i te]nkini {na[re]ba jo[ina/  
 asitaa jo-i tenki=ni {nar-eba jo-i=na/  
 明日.TOP 良い-NPST 天気=DAT {なる-COND 良い-NPST=SFP/  
 naQ[te u]keta[i[na}  
 naQ-te uke-ta-i=na}  
 なる-SEQ もらう-OPT-NPST=SFP  
 明日は良い天気に {なればいいな/なってももらいたいな}。 [M]

命令は子音語幹動詞に -e，母音語幹動詞に -ro といった語尾が付いて表されるが，3-11 にあるように「来る」は不規則で koo となる。

3-11 (私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい。【命令】

[o]rjaa [ko]kode maci[te]erude [cju]udo sorjoo  
 orjaa koko=de maci-tee-ru=de cjuudo sorjoo  
 1.TOP ここ=INS 待つ-CONT-NPST=CSL すぐに それ.ACC

moQ[te] ko[o]]  
 moQ-te koo  
 持つ-SEQ 来る.IMP  
 私はここで待っているからすぐにそれを持って来い。 [M]

懇願(依頼)では、補助動詞 kure-ru の不規則な命令形 kurjoo や否定中止形 kure-de=ka が使われる(3-12)。-de=ka は上述のとおり勧誘にも使われる形である<sup>19</sup>。

3-12 そのペンをちょっと貸していただけませんか? 【懇願】

[so]no pe[n]o [i]nmee [ka]site {kurjoo/kurede[ka]}  
 sono pen=o inmee kasi-te {kurjoo/kure-de=ka}  
 その ペン=ACC 少し 貸す-SEQ {BEN.IMP/BEN-NEG.SEQ=Q}  
 そのペンを少し貸して {くれ/くれないか}。 [I]

可能を表す接尾辞は、子音語幹動詞 -ee-ru, -e-ru, 母音語幹動詞 -rare-ru, -re-ru と、非対称的である(小西ほか2022: 19)。ほかに非過去形 -(r)uにkoto=ŋa deki-ruが付いた形や -e(e)-ruによる可能動詞でも表される。3-13の能力可能も3-14の状況可能も同様である<sup>20</sup>。

3-13 あの人は中国語が読めます。/あの人は中国語を読むことができます。【能力可能】

[a]no hita[a] {cju]uŋokuŋoŋa jome[ru/  
 ano hitaa {cjuuŋoku+ŋo=ŋa jom-e-ru/  
 あの 人.TOP {中国+語=NOM 読む-POT-NPST/  
  
 cju]uŋokuŋo[o] jo[mu] kotoŋa deki[ru}  
 cjuuŋoku+ŋo=o jom-u koto=ŋa deki-ru}  
 中国+語=ACC 読む-NPST こと=NOM できる-NPST}  
 あの人は {中国語が読める/中国語を読むことができる}。 [I]

3-14 明かりが暗くて、ここに何が書いてあるのか、読めない。【状況可能】

[a]kariŋa kuraku[te] kokoni na[ni]ŋa ka]ite a[ru]dooka  
 akari=ŋa kura-kute koko=ni nani=ŋa kai-te ar-u=doo=ka  
 明かり=NOM 暗い-SEQ ここ=DAT 何=NOM 書く-SEQ ある-NPST=COP.NPST=Q  
  
 jo[me]jenuojo  
 jom-ee-noo=jo  
 読む-POT-NEG.NPST=SFP  
 明かりが暗くて、ここに何が書いてあるのか読めないよ。 [M]

蓋然性の表現について、3-15のように確信には =ni cijaina-i, =hazu=da という形式がある。3-16の推量

<sup>19</sup> -de は単独で丁寧な命令表現としても使われる(小西ほか2022: 130-131, 小西2022)。

<sup>20</sup> 小西ほか(2022: 119)は子音語幹動詞の場合 -ee-ru が能力可能, -e-ru が状況可能に用いられやすいとするが、今回の調査結果では話者間の差もあり、判然としない。



は =ra で表され，3-17 の疑念は =zja na-i=ra=ka によって表される．3-18 の可能性は =ka=mo sire-noo のように，異なる形式で区別がなされている．

3-15 (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ／もう着いたに違いない．【確信】

a[sa]	ha[ja]ku	bun[da]itoode	[a]no	otoka[a]	ha[i]
asa	haja-ku	bun-dai-too=de	ano	otokaa	hai
朝	早い-advlz	emph-出す-pst=csl	あの	男.top	もう

tu[i]teeruni	[ci]ŋainaina
tui-tee-ru=ni	ciŋaina-i=na
着く-CONT-NPST=COP.ADV LZ	INFER-NPST=SFP <sup>21</sup>

朝早く出発したからあの男らはもう着いているにちがいないな．[M]

[a]no	otokora[a]	ha[i]	tu[i]teeruhazudana
ano	otoko-raa	hai	tui-tee-ru=hazu=da=ŋa
あの	男-PL.TOP	もう	着く-CONT-NPST=INFER=COP.NPST=ADVS

あの男らはもう着いているはずだが．[M]

3-16 (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう．【推量】

[a]no	hita[a]	a]sita	ta[bu]N	ko[nu]ra
ano	hitaa	asita	tabun	ko-nu=ra
あの	人.TOP	明日	たぶん	来る-NEG.NPST=INFER

あの人は明日はたぶん来ないだろう．[M]

3-17 彼らはまだ来ないなんて，きっと途中で車が壊れたんじゃないか．【疑念】

ano	[sja]a	ma[da]	ko[no]ode
ano	sjaa	mada	ko-noo=de
あの	人.PL.TOP	まだ	来る-NEG.NPST=CSL

[to]cjuude	[ku]rumana	kowa[re]toozja	na[i]raka
tocjuu=de	kuruma=ŋa	koware-too=zja	na-i=ra=ka
途中=INS	車=NOM	壊れる-PST=COP.ADV LZ.TOP	ない-NPST=INFER=Q

あの人たちはまだ来ないから，途中で車が壊れたんじゃないだろうか．[M]

3-18 (昼間だからあの人は家に) さあ，いるかもしれないし，いないかもしれない．【可能性】

[hi]rumado[ode]	ano	hita[a]	jee[ni]	iruka[mo]	sirenoo[si]
hiruma=doo=de	ano	hitaa	jee=ni	i-ru=ka=mo	sire-noo=si
昼間=COP.NPST=CSL	あの	人.TOP	家=DAT	いる-NPST=Q=ADD	知れる-NEG.NPST=MUL

  

inai[ka]mo	sirenoo[jo]
i-na-i=ka=mo	sire-noo=jo
いる-NEG-NPST=Q=ADD	知れる-NEG.NPST=SFP

<sup>21</sup> ciŋaina-を1形態素とみなし，INFER (推量) のグロスを与える．

昼間だからあの人は家にいるかもしれないし、いないかもしれないよ。 [I]

証拠性の表現について、3-19の視覚／聴覚以外の感覚による判断は =joo=doo, 3-20のcmpは =ŋenoo, =soo=dooのように区別がされる。

3-19 (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ。【視覚／聴覚以外の感覚による判断】

doo[mo] o[i]sjaa netu[ŋa] a[ru]joodoo[jo]  
 doomo oisjaa netu=ŋa ar-u=joo=doo=jo  
 どうも 2.TOP 熱=NOM ある-NPST=PRSM=COP.NPST=SFP  
 どうもあなたは熱があるようだよ。 [I]

3-20 (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ。【伝聞】

[a]sitaa a[me]ŋa hu[ru]ŋeno[o]jo  
 asitaa ame=ŋa hur-u=ŋenoo=jo  
 明日.TOP 雨=NOM 降る-NPST=HS=SFP  
 明日は雨が降るそうだよ。 [M]

[te]ŋkijo[ho]oni jore[ba a]sitaa a[me]ŋa hu[ru]soo[do]o[jo]  
 tenki+johoo=ni jor-eba asitaa ame=ŋa hur-u=soo=doo=jo  
 天気+予報=DAT 抛る-COND 明日.TOP 雨=NOM 降る-NPST=HS=COP.NPST=SFP  
 天気予報によれば、明日は雨が降るそうだよ。 [I]

3-21 と 3-22 の反実仮想は特別な法の形式を取らず、-tara, -reba といった仮定形で表される。

3-21 もしお金があつたら、あの車を買うんだけれどなあ。【反実仮想】

mo[si] ze[ni]ŋa aQ[ta]ra<sup>22</sup> ano kurumaa [ko]odo[o]ŋa  
 mosi zeni=ŋa aQ-tara ano kurumaa koo=doo=ŋa  
 もし 銭=NOM ある-COND あの 車.ACC 買う.NPST=COP.NPST=ADVS  
 もし銭があつたら、あの車を買うのだが。 [I]

3-22 もしあなたが教えてくれていなかったら、私はそこにたどり着けなかったでしょう。

【反実仮想過去】

mo[si] o[i]sjaa [o]soite ku]renai[ba o]rjaa sokoi[wa]  
 mosi oisi=ŋa osoi-te kure-naiba orjaa soko=i=wa  
 もし 2=NOM 教える-SEQ BEN-NEG.COND 1.TOP そこ=ALL=TOP

ike[e]nandoo[jo]  
 ik-ee-nandoo=jo  
 行く-POT-NEG.PST=SFP  
 もしあなたが教えてくれなければ、私はそこには行けなかったよ。 [M]

<sup>22</sup> 小西ほか (2022: 141) は「窓を開けたら虫が入ってきた」のような継起節で-taiba が使われるとしているが、話者 I によると 3-21 の文で aQtaiba とは言わないようである。

3 人称の主体による希望は 3-23 のように **-ta-ŋaQ-tee-ru** で表され, 1 人称主体の希望を表す **ta-i** とは区別される。

3-23 (あの人)は街へ行きたがっている。【3 人称の主体による希望】

[a]no hita[a ma]ci[i] {ikitanaQ[te]eru[jo/ikitanaQteeru[ni]]}  
 ano hitaa maci-i {iki-ta-ŋaQ-tee-ru=jo/iki-ta-ŋaQ-tee-ru=ni}  
 あの 人.TOP 街=ALL {行く-OPT-VBLZ-CONT-NPST=SFP/行く-OPT-VBLZ-CONT-NPST=SFP}  
 あの人(は)街へ行きたがっているよ。[M]

3-24 の 1 人称命令と 3-25 の 3 人称命令は [使役+命令] によって表される。後者は [使役+疑問] [使役+勧誘] でも表される。

3-24 僕にもそれを少し飲ませろ。【1 人称命令】

[o]reni[mo] sorjoo [i]nmee [no]mase[ro]  
 ore=ni=mo sorjoo inmee nom-ase-ro  
 I=DAT=ADD それ.ACC 少し 飲む-CAUS-IMP  
 私にもそれを少し飲ませろ。[I]

3-25 これはあの人に持って行かせろ／持って行かせよう。【3 人称命令】

[ko]rjaa [a]no hito[ni]  
 korjaa ano hito=ni  
 これ.TOP あの 人=DAT  
  
 {moQ[te i]kase-ro/moQ[te i]kaseruka/ moQ[te i]kasezaa}<sup>23</sup>  
 {moQ-te ik-ase-ro/moQ-te ik-ase-ru=ka/ moQ-te ik-ase-zaa}  
 {持つ-SEQ 行く-CAUS-IMP/持つ-SEQ 行く-CAUS-NPST=Q/ 持つ-SEQ 行く-CAUS-HOR}  
 これはあの人に {持って行かせろ/持って行かせるか/持って行かせよう}。[M]

遠未来の命令は 3-26 のように近未来の命令と同じ形式で表される。

3-26 そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい。【遠未来命令形】

[so]no [te]eburuno ue[no] ka[sjo]o a[to]de ke[e]  
 sono teeburu=no ue=no kasjoo ato=de kee  
 その テーブル=GEN 上=GEN 菓子.ACC あと=INS 食う.IMP  
 そのテーブルの菓子をあとで食べ。[I]

假定形 **-reba** は 3-27 のように **jo-i** を伴って反実仮想に用いることもできるが, 3-28 のような例では **doo=dura=ka**, **jo-i** といった主節が積極的に回答されている。このような勧め表現において, 主節がなくても文が成立する脱従属化は起こらないようである。

<sup>23</sup> 話者 M によると「moQte ikaseruka だと確定ではなく相談している意味になる。moQte ikasezaa だと確定になる」とのこと。動作主への働きかけ(誘うこと)の実行が確定しているという意味だと思われる。

3-27 もっと早く来ればよかった。【反実仮想】

maQ[to]	ha[ja]ku	ku[re]ba	jokaQ[tooni
maQto	haja-ku	ku-reba	jokaQ-too=ni
もっと	早く-ADVLZ	来る-COND	良い-PST=SFP

もっと早く来れば良かったよ。 [I]

3-28 あなたも一緒に行ったら（どうですか）？【脱従属化】

o[i]simo	[i]Qsjoni	ike[ba]	doo[du]raka
oisi=mo	iQsjo=ni	ik-eba	doo=dura=ka
2=ADD	一緒=COP.ADVLZ	行く-COND	どう=COP.INFER=Q

あなたもいっしょに行ったらどうだろうか？ [M]

o[i]simo	[i]Qsjoni	{[i]ke[ba]/iQto[o]	hoonja}	jo[ini]]
oisi=mo	iQsjo=ni	{ik-eba/iQ-too	hoo=nja}	jo-i=ni
2=ADD	一緒=DAT	{行く-COND/行く-PST	方=NOM}	良い-NPST=SFP

あなたも一緒に {行けば/行ったら/行った方が} 良いよ。 [I]

反語は 3-29 のように疑問詞を用いなくても疑問助詞 =ka によって表せる。

3-29 オレがそんなこと知るか！【(疑問詞を含まない) 反語】

[o]reŋa	[so]ŋan	koto[o	si]ruka
ore=ŋa	soŋan	koto=o	sir-u=ka
1=NOM	そんな	事=ACC	知る-NPST=Q

私がそんなことを知るか！ [M]

[o]reŋa	[so]ŋaano[o]	koto[o]	si]rudaka
ore=ŋa	soŋaa=no	koto=o	sir-u=da=ka
1=TOP	そんな=GEN	事=ACC	知る-NPST=COP.NPST=Q

私がそんなことを知るか (lit. 知るだか) ！ [I]

3-30 の付加疑問は終助詞の連接形 =jo=na で表される。

3-30 これを作った（料理した）のは、お母さんだよ？ / いいえ、私が作ったのよ。【付加疑問】

[ko]rjoo	tukuQ[to]owa	oka[a]dajo[na
korjoo	tukuQ-too=wa	o-kaa=da=jo=na
これ.ACC	作る-PST=TOP	POL-母=COP.NPST=SFP=SFP

これを作ったのは、お母さんだよ？ [M]

{soo[zja]a	na[i][[jo/	[i]nnja}24.
{soo=zjaa	na-i=jō/	innja}
{そう=COP.ADV LZ.TOP	NEG-NPST=SFP/	NEG}

[so]rjaa	[o]reŋa	tukuQ[to]odoojo.
sorjaa	ore=ŋa	tukuQ-too=doo=jo
それ.TOP	1=NOM	作る-PST=COP.NPST=SFP
{そうじゃないよ/いや}. それは私が作ったんだよ. [M]		

## 7. 所有・存在表現（語学研究所論集 第 18 号）

5-1 と 5-2 の恒常的な所有は「対格+動詞si-tee-ru」で表される。5-2 は「毛が長い」にあたる表現も可能。属格の =no を用いて修飾要素にすることもできる。

### 5-1 あの人は青い目をしている。／青い目の人・目が青い人【一体的（譲渡不可能的）な、恒常的な所有(1)】

[a]no	hita[a]	ao[i]	me[o	si]teeru[na
ano	hitaa	ao-i	me=o	si-tee-ru=na
あの	人.TOP	青い-NPST	目=ACC	する-CONT-NPST=SFP
あの人は青い目をしているな. [M]				

[a]o[i]	me[no]	hito
ao-i	me=no	hito
青い-NPST	目=GEN	人
青い目の人 [I]		

me[ŋa]	ao[i	hi]to
me=ŋa	ao-i	hito
目=NOM	青い-NPST	人
目が青い人 [I]		

### 5-2 あの女 {は／の} 髪が長い・あの女は長い髪をしている／長い髪の女・髪の長い女

【一体的な、恒常的な所有(2)】

[a]no	onna[wa	[ke]ŋa	naŋa[i
ano	onna=wa	ke=ŋa	naŋa-i
あの	女=TOP	毛=NOM	長い-NPST
あの女は髪が長い. [M]			

[a]no	onnano	hitono	[ka]mi[ŋa]	naŋa[i
ano	onna=no	hito=no	kami=ŋa	naŋa-i
あの	女=GEN	人=GEN	髪=NOM	長い-NPST
あの女の人の髪が長い. [I]				

<sup>24</sup> 話者 M によると応答詞にあたる innja はあまり使わないとのこと。

[a]no	onnano	hita[a	na]ŋa[i	ka]mi[o]	sitē[ru
ano	onna=no	hitaa	naŋa-i	kami=o	si-tee-ru
あの	女=GEN	人.TOP	長い-NPST	髪=ACC	する-CONT-NPST

あの女の人は長い髪をしている。 [I]

naŋa[i]	ke]no	onna
naŋa-i	ke=no	onna
長い-NPST	毛=GEN	女

長い髪の女 [M]

[ka]mino	naŋa[i]	onna
kami=no	naŋa-i	onna
髪=GEN	長い-NPST	女

髪の長い女 [I]

5-3 の非普通所有物は ar-u で表され、修飾要素にする場合は属格の =no で表すこともできる。5-4 のように普通所有物であっても慣用句的表現であれば ar-u で表せる。「見る目がある」にあたる表現として「目が高い」に逐語的に対応する形式も得られた。

5-3 あの人には髭がある。／髭の男【非普通所有物】

[a]no	hito[nja]a	[hi]ŋeŋa	a[ru
ano	hito=njaa	hiŋe=ŋa	ar-u
あの	人=DAT.TOP	髭=NOM	ある-NPST

あの人には髭がある。 [I] /

{[hi]ŋedurano/[hi]ŋeno}	otoko
{hiŋe+dura=no/hiŋe=no}	otoko
{髭+顔=GEN/髭=GEN}	男

{髭面の髭の} 男 [M]

5-4 あの人には（見る）目がある。／見る目のある人【慣用句的表現】

[a]no	hito[nja]a	mi[ru]	meŋa	a[ru
ano	hito=njaa	mi-ru	me=ŋa	ar-u
あの	人=DAT.TOP	見る-NPST	目=NOM	ある-NPST

あの人には見る目がある。 [I]

me[ŋa]	taka[i]	hito
me=ŋa	taka-i	hito
目=NOM	高い-NPST	人

目が高い人 [M]

mi[ru]	meno	a[ru]	hito
mi-ru	me=no	ar-u	hito
見る-NPST	目=GEN	ある-NPST	人

見る目のある人 [I]

5-5, 5-6 の側面語のある表現では，述語としてはコピュラ，修飾要素としては属格の =no が使われ，ar-u による存在表現にはならない。

5-5 あの人は22歳だ。／22歳の人【側面語のある表現(1)】

[a]no	hito[wa]	ni[zju]uni[sa]ida
ano	hito=wa	nizjuu+ni-sai=da
あの	人=TOP	二十+二-CLF=COP

あの人は二十二歳だ。 [I]

ni[zju]uni[no]	hito
nizjuu+ni=no	hito
二十+二=GEN	人

22歳の人 [M]

5-6 あの人は優しい性格だ。／優しい性格の人【側面語のある表現(2)】

[a]no	hita[a]	[ja]sasii	[se]ekakuda[na
ano	hitaa	jasasi-i	seekaku=da=na
あの	人.TOP	優しい-NPST	性格=COP.NPST=SFP

あの人は優しい性格だな。 [M]

[ja]sasii	seekakuno	hito
jasasi-i	seekaku=no	hito
優しい-NPST	性格=GEN	人

優しい性格の人 [I]

5-7 の「背が高い」は一単語の形容詞ではなく see（背）を主格にした文で表される。5-8 のような属性数量詞構文の場合は ar-u で表せる。

5-7 あの人は背が高い。／背の高い人【側面語のある表現(3)】

[a]no	hita[a]	se[e]ŋa	taka[i]
ano	hitaa	see=ŋa	taka-i
あの	人.TOP	背=NOM	高い-NPST

あの人は背が高い。 [M]

[see]no taka[i] hito  
 see=no taka-i hito  
 背=GEN 高い-NPST 人  
 背の高い人 [I]

5-8 あの人は背が 190 センチもある。【側面語のある表現(4), 属性数量詞構文】

[a]no hitono see[wa] hjakukjuuzjuQse[n]cimo a[ru][jo  
 ano hito=no see=wa hjakukjuuzjuQ-senci=mo ar-u=jo  
 あの 人=GEN 背=TOP 百九十-CLF=ADD ある-NPST=SFP  
 あの人の背は百九十センチもあるよ。 [M]

[a]no hita[a se]e[ŋa] hja]kukjuuziQ[se]ncimo a[ru]dooQcjudoo]jo  
 ano hitaa see=ŋa hjakukjuuziQ-senci=mo ar-u=doo=Qcju=doo=jo  
 あの 人.TOP 背=NOM 百九十-CLF=ADD ある-NPST=COP.NPST=HS=COP.NPST=SFP  
 あの人は背が百九十センチもあるのだそうだよ [I]

無生の所有者の場合も 5-9 のように「対格+si-tee-ru」や属格の =no を用いる。

5-9 その石は四角い形をしている。／四角い（形の）石【側面語のある表現(5)】

[so]no isja[a] sikaku[no ka]tacio sitee[ru  
 sono isjaa sikaku=no kataci=o si-tee-ru  
 その 石.TOP 四角=GEN 形=ACC する-CONT-NPST  
 その石は四角の形をしている。 [M]

[so]no isja[a] sikaku[da[na  
 sono isjaa sikaku=da=na  
 その 石.TOP 四角=COP.NPST=SFP  
 その石は四角だな。 [M] (sikakuno katacio siteeru より sikakudana の方が言いやすいか)

[so]no isja[a si]kaku[i] ka]tacio site i[ru  
 sono isjaa sikaku-i kataci=o si-te i-ru  
 その 石.TOP 四角い-NPST 形=ACC する-SEQ CONT-NPST  
 その石は四角い形をしている。 [I]

sikaku[no] isi  
 sikaku=no isi  
 四角=GEN 石  
 四角の石 [M]

[si]kaku[i] ka]tacino isi[da  
 sikaku-i kataci=no isi=da  
 四角い-NPST 形=GEN 石=COP.NPST



四角い形の石だ. [I]

5-10 や 5-11 の属性, 5-14 や 5-15 の親族といった所有関係の表現において, 無生の所有対象 (5-10「才能」, 5-11「熱」) は ar-u による存在表現, 有生の所有対象 (5-14「妻」, 5-15「子供」) は i-ru による存在表現で表せる. 5-16 の, 普遍的事実として身体部位「足」の所有を表す文もこれに準じる. 5-11「病気だ」にあたる表現としては名詞 bjooki のほか, 動詞 jam-u 継続形を用いることができる. 5-12, 5-13 の衣服の場合は ki-te i-ru 等の着用動詞の継続形を用い, 修飾要素としては衣服に属格 =no を付加して表す. 5-15 の「妊娠している」にあたる表現には動詞 haram-u の継続形も用いられる.

5-10 あの人には才能がある. / 才能のある人 【属性】

[a]no	hito[nja]a	[sa]inoonja	a[ru][[jo
ano	hito=njaa	sainoo=ŋa	ar-u=jō
あの	人=DAT.TOP	才能=NOM	ある-NPST=SFP

あの人には才能があるよ. [M]

[sa]inoono	a[ru]	hito
sainoo=no	ar-u	hito
才能=GEN	ある-NPST	人

才能がある人 [M]

5-11 あの人は病気だ. / あの人は熱がある. / 病気の人 【一時的属性】

[a]no	hita[a]	jan[de]eru[na]a
ano	hitaa	jan-dee-ru=na
あの	人.TOP	病む-CONT-NPST=SFP

あの人は病気だな (lit. 病んでいるな). [M]

[a]no	hita[a]	[ne]tu[ŋa]	aru
ano	hitaa	netu=ŋa	ar-u
あの	人.TOP	熱=NOM	ある-NPST

あの人は熱がある. [I]

jan[de]eru	hito
jan-dee-ru	hito
病む-CONT-NPST	人

病気の人 (lit. 病んでいる人) [M]

[bjo]okino	hitoda
bjooki=no	hito=da
病気=NOM	人=COP.NPST

病気の人だ [I]

5-12 あの人は青い服を着ている。／青い服の男【衣服等(1)】

[a]no	hita[a	a]oi	[hu]ku[u]	kite	i[ru
ano	hitaa	ao-i	hukuu	ki-te	i-ru
あの	人.TOP	青い-NPST	服.ACC	着る-SEQ	CONT-NPST

あの人は青い服を着ている。 [I]

ao[i]	huku[no]	otoko[da
ao-i	huku=no	otoko=da
青い-NPST	服=GEN	男=COP.NPST

青い服の男だ。 [I]

5-13 あの人はメガネをかけている。／メガネの男【衣服等(2)】

[a]no	hita[a]	meŋa[njo]o	kaketeeru
ano	hitaa	meŋanjoo	kake-tee-ru
あの	人.TOP	メガネ.ACC	かける-CONT-NPST

あの人はメガネをかけている。 [M]

me[ŋa]nenō	o]toko
meŋane=no	otoko
メガネ=GEN	男

メガネの男 [M]

5-14 あの人には妻がいる。／既婚の人・妻のいる人【親族の所有(1)】

[a]no	hito[nja]a	oka[a]ŋa	i[ru]raka
ano	hito=ŋjaa	o-kaa=ŋa	i-ru=ra=ka
あの	人=DAT.TOP	POL-妻=NOM	いる-NPST=INFER=Q

あの人には妻がいるだろうか。 [M]

{[ki]konno/[o]kusanno	iru}	hito
{kikon=no/oku-san=no	i-ru}	hito
{既婚=GEN/奥-HCR=GEN	いる-NPST}	人

既婚の人・妻 (lit. 奥さん) のいる人 [I]

tu[re]aiŋa	i[ru]	hi[to
ture+ai=ŋa	i-ru	hito
連れ+合い=NOM	いる-NPST	人

連れ合いがいる人 [M]

{[o]kaQsanno/[o]kaQsanŋa/oka[a]ŋa}	iru	hito
{o-kaQ-san=no/o-kaQ-san=ŋa/o-kaa=ŋa}	iru	hito
{POL-妻-HCR=GEN/POL-妻-HCR=NOM/POL-妻=NOM}	いる-NPST	人

{妻の/妻が} いる人 [M]

5-15 あの人には3人子供がいる。／3人の子持ちの人・あの人の3人の子供／妊娠している女性

【親族の所有(2)】

[a]no hito[nja]a [sa]nnin [ko]domoŋa iru  
 ano hito=ŋjaa san-nin kodomo=ŋa i-ru  
 あの 人=DAT.TOP 三-CLF 子供=NOM いる-NPST  
 あの人には三人子供がいる。 [I]

[sa]nnin[no ko]mocino hito  
 san-nin=no ko+moci=no hito  
 三-CLF=GEN 子+持ち=GEN 人  
 三人の子持ちの人 [I]

[a]no hito[no sa]nnin[no ko]domodo[o]jo  
 ano hito=no san-nin=no kodomo=doo=jo  
 あの 人=GEN 三-CLF=GEN 子供=COP.NPST=SFP  
 (これは) あの人の三人の子供だよ。 [M]

ha[ra]ndeeru onna  
 haran-dee-ru onna  
 はらむ-CONT-NPST 女  
 妊娠している (lit. はらんでいる) 女 [M]

[ni]nsinsitee[ru] onnano hito  
 ninsin+si-tee-ru onna=no hito  
 妊娠+する-CONT-NPST 女=GEN 人  
 妊娠している女の人 [I]

5-16 タコには足が8本ある。【普遍的な事実】

ta[ko]ŋjaa asi[ŋa] haQ[po]N a[ru][[jo  
 tako=ŋjaa asi=ŋa haQ-pon ar-u=jo  
 タコ=DAT.TOP 足=NOM 八-CLF ある-NPST=SFP  
 タコには足が八本あるよ。 [M]

5-17 の含有物は +iri=no による連体修飾で，5-18 のもっとも一般的な所有は +moci=no による連体修飾で表すことができる (ただしそれぞれの生産性は不明)。述語としては，5-18 の金銭の所有，5-20，5-21 のような一時的携帯物は moQ-tee-ru で表せ，5-19 の家畜の所有は i-ru で表せる。

- 5-17 その飲み物にはアルコールが入っている。／アルコール入りの飲み物【ともに無生物，含有物】

[so]no	nomi[mo]nonjaa	[a]rukooruŋa	ha[i]Qterujo
sono	nomi+mono=njaa	arukooru=ŋa	haiQ-te-ru=jo
その	飲み+物=DAT.TOP	アルコール=NOM	入る-CONT-NPST=SFP

その飲み物にはアルコールが入っているよ。 [I]

[a]rukooruirino	nomi[mo]no
arukooru+iri=no	nomi+mono
アルコール+入り=GEN	飲み+物

アルコール入りの飲み物 [I]

- 5-18 あの人はお金を持っている。／お金持ちの人【もっとも一般的な所有，やや恒常的】

[a]no	hita[a]	ze[njo]o	moQ[te]eru
ano	hitaa	zenjoo	moQ-tee-ru
あの	人.TOP	金.ACC	持つ-CONT-NPST

あの人はお金を持っている。 [M]

[ze]ni[mo]cino	hito
zeni+moci=no	hito
金+持ち=GEN	人

金持ちの人 [I]

- 5-19 おまえのところには犬がいるか？／犬のいる人【所有，やや恒常的，所有物は有生・家畜】

o[i]sino	to[ko]njaa	inu[ŋa]	iruka
oisi=no	toko=njaa	inu=ŋa	i-ru=ka
2=GEN	所=DAT.TOP	犬=NOM	いる-NPST=Q

おまえのところには犬がいるか？ [M]

{[i]nuno/[i]nu[ŋa]}	iru	hito
{inu=no/inu=ŋa}	i-ru	hito
{犬=GEN/犬=NOM}	いる-NPST	人

{犬の/犬が} いる人 [M]

- 5-20 おまえは（自分の）ペンを持っているか？／ペンを持っている人【一時的携帯物・自分のもの】

o[i]sjaa	tema[i]no	pe[n]o	moQ[te]eruka
oisjaa	temai=no	pen=o	moQ-tee-ru=ka
2.TOP	REFL=GEN	ペン=ACC	持つ-CONT-NPST=Q

おまえは自分のペンを持っているか？ [M]

pe[n]o	moQ[te]eru	hito
pen=o	moQ-tee-ru	hito
ペン=ACC	持つ-CONT-NPST	人

ペンを持っている人 [M]

5-21 あの人は（誰か別の人の）ペンを持っている。【一時的携帯物・他人のもの】

[a]no	hita[a]	da[re]ka	[ci]ŋoo	hitono	pe[n]o	moQ[te]jeru
ano	hitaa	dare=ka	ciŋoo	hito=no	pen=o	moQ-tee-ru
あの	人.TOP	誰=Q	違う.NPST	人=GEN	ペン=ACC	持つ-CONT-NPST

あの人は誰か違う人のペンを持っている。 [I]

5-22 の「運がいい」は一単語の形容詞ではなく un（運）を主語にした文で表される。形容名詞（いわゆる形容動詞語幹）sjaase={na/no}，または siawase={na/no} による連体修飾で表すこともできる<sup>25</sup>。

5-22 あの人は運がいい。／幸運な人【抽象的・一時的所有物】

[a]no	hita[a]	u[n]ŋa	jo[ina]
ano	hitaa	un=ŋa	jo-i=na
あの	人.TOP	運=NOM	良い-NPST=SFP

あの人は運がいいな。 [M]

[sja]ase {na/no}	hito
sjaase={na/no}	hito
幸せ=COP.ADN/GEN	人

幸運な人 [M]

存在する物の数量を表す場合は、5-24 のように数量詞を副詞的に用いることができる。具体的数量によらずに多寡を表す場合は、5-23 では形容詞文を得たが、4 節 4-14-b の gai=ni ar-u（たくさんある）のように数量副詞句と存在動詞でも表すことができる。

5-23 ここは石が多い。／石の多い土地【恒常的存在>状態／性質】

[ko]kaa	[i]si[ŋa]	oo[i]
kokaa	isi=ŋa	oo-i
ここ.TOP	石=NOM	多い-NPST

ここは石が多い。 [I]

[i]sino	oo[i]	to[ci]da
isi=no	oo-i	toci=da
石=GEN	多い-NPST	土地=COP.NPST

石の多い土地だ。 [I]

<sup>25</sup> sjaase, siawase は述語でも用いることが出来ると思われるが、未確認。現代日本語共通語の「しあわせ」は幸福な状態を表し、幸運という意味は失っている。奈良田方言では、例えば宝くじにあたった人に 5-22 の文を用いることができ、幸運という意味を確実に持つと言える。

5-24 その部屋には椅子が3つある／3つ椅子のある部屋【非恒常的存在と数量】

[ko]no heja[nja]a [i]suŋa miQtu a[ru]  
 kono heja=njaa isu=ŋa miQtu ar-u  
 この 部屋=DAT.TOP 椅子=NOM 三.CLF ある-NPST  
 この部屋には椅子が三つある。[M]

[mi]Qtu [i]suŋa a[ru] heja  
 miQtu isu=ŋa ar-u heja  
 三.CLF 椅子=NOM ある-NPST 部屋  
 三つ椅子のある部屋 [M]

[mi]Qtu [i]suno a[ru] heja  
 miQtu isu=no ar-u heja  
 三.CLF 椅子=GEN ある-NPST 部屋  
 三つ椅子のある部屋 [I]

存在が新情報の場合は 5-25 のように存在物を =ŋa で表し、場所が新情報の場合は 5-26 のように存在物を主題で表す。情報構造によって使用する存在動詞は変わらない。

5-25 テーブルの上にスプーンがある。／スプーンのあるテーブル【存在・存在が新情報】

{[te]eburuno u[e]ni/[cja]bodai[no] ueni}  
 {teeburu=no ue=ni/cjabodai=no ue=ni}  
 {テーブル=GEN 上=DAT/ちゃぶ台=GEN 上=DAT}  
 {su[pu]unŋa/[sa]zi[ŋa]} a[ru]  
 {supuun=ŋa/sazi=ŋa} ar-u  
 {スプーン=NOM/さじ=NOM} ある-NPST  
 {テーブルの上に/ちゃぶ台の上に} {スプーンが/さじが} ある。[I]

[sa]zino a[ru] cja]bo[da]i  
 sazi=no ar-u cjabodai  
 さじ=GEN ある-NPST ちゃぶ台  
 スプーン (lit. さじ) のあるテーブル (lit. ちゃぶ台) [I]

5-26 そのスプーンはテーブルの上にある。／テーブルにあるスプーン【所在・場所が新情報】

[so]no sa[zja]a cjabo[da]ino ueni a[ru]  
 sono sazjaa cjabodai=no ue=ni ar-u  
 その さじ.TOP ちゃぶ台=GEN 上=DAT ある-NPST  
 そのスプーン (lit. さじ) はテーブル (lit. ちゃぶ台) の上にある。[M]

cjabo[da]jini      a[ru]              sa[zi]  
 cjabodai=ni      ar-u              sazi  
 ちゃぶ台=DAT    ある-NPST      さじ  
 テーブル (lit. ちゃぶ台) にあるスプーン (lit. さじ) [M]

属格の =ŋa は，修飾名詞句が有生名詞に限定され，特に人名詞の場合に使いやすい。また，5-27 のように所有関係を表す場合に使いやすい<sup>26</sup>。また，5-27 の「そのペンは私のだ。」のような名詞相当句を形成する場合，準体助詞を伴わずに=ŋa が使われる。

5-27 そのペンは私のだ。・そのペンは太郎のだ。 / 私のペン・太郎のペン

【所有物，属格のプロトタイプ】

[ko]no            pe[n]wa            [o]reŋa[da]jo  
 sono            pen=wa            ore=ŋa=da=jo  
 その            ペン=TOP        1=GEN=COP.NPST=SFP  
 そのペンは私のだよ。 [M]

[so]no            pe[n]wa            ta[ro]oŋada[na]  
 sono            pen=wa            taroo=ŋa=da=na  
 その            ペン=TOP        太郎=GEN=COP.NPST=SFP  
 そのペンは太郎のだな。 [M]

[o]reŋa            pe[n]  
 ore=ŋa            pen  
 1=GEN            ペン  
 私のペン [M]

{ta[ro]ono/ta[ro]oŋa}            pe[n]  
 {taroo=no/taroo=ŋa}            pen  
 {太郎=GEN/太郎=GEN}        ペン  
 太郎のペン [I]

5-28 のできごとの生起は ar-u で表される。5-29 の実在文や 5-30，5-31 の絶対存在文は i-ru で表される。5-32 の抽象的なことの所有・発話内効力のある文でも ar-u が使われる。

5-28 昨日，学校で火事があった。 / 私は明日用事があります。【できごとの生起】

[ki]njoo            [ga]Qkoo[de    ka]zi[ŋa            {aQ[ta/aQ[to]o[jo}  
 kinjoo            gaQkoo=de    kazi=ŋa            {aQ-ta/aQ-too=jo}  
 昨日            学校=INS      火事=NOM        {ある-PST/ある-PST=SFP}

<sup>26</sup> 修飾名詞句が人であっても，相対的に丁寧な 2 人称代名詞 oisi，親族名詞の一部に用いにくいといった制限がある (小西ほか 2022: 93)。また，後掲の 5-35 「あの人の次」など所有関係以外でも用いられることがある。

きのう学校で火事が {あった/あったよ}. [I]

[o]rjaa	[a]sita	[jo]ozija	a[ru
orjaa	asita	joozi=ɲa	ar-u
1.TOP	明日	用事=NOM	ある-NPST

私は明日用事がある. [M]

5-29 (この世には) お化けなんていない. 【実在文】

[ko]no	sjabanja[a]	oba[ke]maarjaa	inoo[jo
kono	sjaba=ɲjaa	obake=maarjaa	i-noo=jo
この	娑婆=DAT.TOP	お化け=EXPL.TOP	いる-NEG.NPST=SFP

この世にはお化けなんていないよ. [M]

5-30 (そこには) 英語を話す人もいるが, 話さない人もいる. 【絶対存在文(1)】

[so]konja[a	e]eɲoo	hana[su]	hito[mo]	iruɲa
soko=ɲjaa	eeɲo=o	hanas-u	hito=mo	i-ru=ɲa
そこ=DAT.TOP	英語=ACC	話す-NPST	人=ADD	いる-NPST=ADVS

  

[ha]nasana[i]	hito[mo]	iru[jo
hanasa-na-i	hito=mo	i-ru=jo
話す-NEG-NPST	人=ADD	いる-NPST=SFP

そこには英語を話す人もいるが話さない人もいるよ. [I]

5-31 私より英語ができる人は (ほかに/もっと) います. 【絶対存在文(2)】

[o]rejo[ri	e]eɲono	deki[ru]	hito[ɲa]	maQ[to	iru[jo
ore=jori	eeɲo=no	deki-ru	hito=ɲa	maQto	i-ru=jo
1=CMP	英語=GEN	できる-NPST	人=NOM	もっと	いる-NPST=SFP

私より英語のできる人がもっといるよ. [M]

  

[o]rejo[ri	e]eɲoɲa	deki[ru]	hito[wa]	ho[ka]ni	maQ[to]	iru[jo
ore=jori	eeɲo=ɲa	deki-ru	hito=wa	hoka=ni	maQto	i-ru=jo
1=CMP	英語=NOM	できる-NPST	人=TOP	他=DAT	もっと	いる-NPST=SFP

私より英語ができる人は他にもっといるよ. [I]

5-32 ちょっとあなたにお願いがあります. 【抽象的なことの所有・発話内効力のある文】

[cjo]Qku[ri]	o[i]si[ni	o]neɲaiɲa	a[ru
cjoQkuri	oisi=ni	o-neɲai=ɲa	ar-u
少し	2=DAT	POL-願いの=NOM	ある-NPST

ちょっとあなたにお願いがある. [I]

以下のように, 属格の =no は名詞の様々な関係を表すことができる. 前述のとおり属格 =ɲa は, 5-35 のような, 修飾名詞句が人名詞で所有関係を表す場合は使いやすい.



5-33 冬の雨【時間】／東京の家【場所】

[hu]juno a[me  
 huju=no ame  
 冬=GEN 雨  
 冬の雨 [M]

to[okjoono] je[e  
 tookjoo=no jee  
 東京=GEN 家  
 東京の家 [M]

5-34 彼の泳ぎ／犬の鳴き声／火山の爆発【B が行為を示す名詞である場合の主体】  
 ／車の運転【同じく客体／対象】／～の小説【A の生産物である B】

[a]no otokono ojo[ŋi  
 ano otoko=no ojoŋi  
 あの 男=GEN 泳ぎ  
 あの男の泳ぎ [I]

[i]nuno nakiŋoi  
 inu=no naki+ŋoi  
 犬=GEN 鳴き+声  
 犬の鳴き声 [M]

ka[za]nno bakuhatu  
 kaza=no bakuhatu  
 火山=GEN 爆発  
 火山の爆発 [I]

[ku]rumano u[nten  
 kuruma=no unten  
 車=GEN 運転  
 車の運転 [M]

[mu]rakami ha[ru]kino sjoosetu<sup>27</sup>  
 murakami haruki=no sjoosetu  
 村上 春樹=GEN 小説  
 村上春樹の小説 [I]

<sup>27</sup> 話者 M は murakamiharuki=ŋa は通じないことはないが=no のほうがよいと回答している。

5-35 Xさん (固有名詞) のお母さん【親族】／机の横に／机の前に／\*机に (来て!)【場所名詞】／  
あの人の次【時間的關係】

{ta[ro]ono/ta[ro]oŋa} oka[a]  
 {taroo=no/taroo=ŋa} o-kaa  
 {太郎=GEN/太郎=GEN} POL-母  
 太郎のお母さん [M]

ta[ro]osanno oka[a]san  
 taroo-san=no o-kaa-san  
 太郎-HCR=GEN POL-母-HCR  
 太郎さんのお母さん [I]

[tu]kueno {[jo]koi/ma[a]sa} ko[o]  
 tukue=no {joko=i/maa=sa} ko-o  
 机=GEN {横=ALL/前=ALL} 来る-IMP  
 机の {横に/前へ} 来い. [M]

[tu]kueno {jokoni/ma[e]ni} ko[o]  
 tukue=no {joko=ni/mae=ni} koo  
 机=GEN {横=DAT/前=DAT} 来る.IMP  
 机の {横に/前に} 来い. [I] (tukueni koo は不可)

[a]no {hitono/hito[ŋa]} {tuŋi[do]ojo/tuŋi[da][[jo]}  
 ano {hito=no/hito=ŋa} {tuŋi=doo=jo/tuŋi=da=jo}  
 あの {人=GEN/人=GEN} {次=COP.NPST=SFP/次=COP.NPST=SFP}  
 (順番は) あの人の次だよ. [M]

[a]no hitono tuŋi  
 ano hito=no tuŋi  
 あの 人=GEN 次  
 あの人の次 [I]

5-36 バラの花びら【種別】／果物のナイフ【用途】／紙の飛行機【材料・材質】／  
チューリップの絵【内容】／花の匂い【産出物】／英文の手紙【表現形式(?)】／  
日本語の先生【職種】／井戸の水【取得源】／雨の日【状況】

[ba]rano hanabira  
 bara=no hanabira  
 バラ=GEN 花びら  
 バラの花びら [M]

[ku]dameronono    na[i]hu  
kudamono=no    naihu  
果物=GEN    ナイフ  
果物のナイフ [I]

[ka]mino    hiko[o]ki  
kami=no    hikooki  
紙=GEN    飛行機  
紙の飛行機 [M]

cju[u]riQpuno    je  
cjuuriQpu=no    je  
チューリップ=GEN    絵  
チューリップの絵 [I]

[ha]nano    nioi  
hana=no    nioi  
花=GEN    匂い  
花の匂い [M]

[e]ebunno    tenami  
eebun=no    tenami  
英文=GEN    手紙  
英文の手紙 [I]

[ni]honɲono    sense[e  
nihon+ɲo=no    sensee  
日本+語=GEN    先生  
日本語の先生 [M]

i[do]no    mizu  
ido=no    mizu  
井戸=GEN    水  
井戸の水 [I]

a[me]no    hi  
ame=no    hi  
雨=GEN    日  
雨の日 [M]

5-37 のような同格の場合にも属格の =no が用いられ, =ɲa は不適格となる.

5-37 妹の花子／社長の田中さん【同格】

[i]mootono ha[na]ko  
 imooto=no hanako  
 妹=GEN 花子  
 妹の花子 [I]

[sja]cjoono [ta]nakasan  
 sjacjoo=no tanaka-san  
 社長=GEN 田中-HCR  
 社長の田中さん [M]

5-38 のように属格の =no を連続使用することもできる.

5-38 となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ(が昨日突然パンクしたんだって.)【属格の連続使用】

[to]narino jeeno [to]modacino oto[o]no [ku]rumano [ta]ijaja  
 tonari=no jee=no tomodaci=no o-too=no kuruma=no taija=ja  
 隣=GEN 家=GEN 友達=GEN POL-父=GEN 車=GEN タイヤ=NOM  
  
 [ki]noo [to]cuzen pa[n]kusito[o]cjuuzjaa na[i]kajo  
 kinoo tocuzen panku+si-too=cjuu=zjaa na-i=ka=jo  
 昨日 突然 パンク+する -PST=HS.NPST=COP.ADV LZ.TOP ない -NPST=Q=SFP  
 となりの家の友達のお父さんの車のタイヤがきのう突然パンクしたというじゃないかよ. [M]

[to]narino jeeno [to]modacino oto[o]sanno [ku]rumano [ta]ija[ja  
 tonari=no jee=no tomodaci=no o-too-san=no kuruma=no taija=ja  
 隣=GEN 家=GEN 友達=GEN POL-父-HCR=GEN 車=GEN タイヤ=NOM  
  
 ki]njoo [to]tuzen pa[n]kusi[too]dooQcje  
 kinjoo totuzen panku+si-too=doo=Qcje  
 昨日 突然 パンク+する -PST=COP.NPST=QUOT  
 隣の家の友達のお父さんの車のタイヤがきのう突然パンクしたんだって.  
 (lit. パンクしただって). [I]

略号一覧

-	接辞境界	HS	伝聞
=	接語境界	IMP	命令
+	複合語内の形態素境界	INFER	推量
1	1 人称	INS	具格
2	2 人称	MUL	並列
ABL	奪格	NEG	否定
ACC	対格	NMNL	名詞化
ADD	累加	NOM	主格
ADN	連体	NPST	非過去
ADV LZ	副詞化	OPT	希望

ADVS	逆接	PASS	受身
ALL	向格	PFV	完了
BEN	受益，与益	PL	複数
CAUS	使役	POL	丁寧
CLF	類別	POT	可能
CMP	比較格	PROH	禁止
COND	仮定条件	PRSM	推定
CONC	逆接仮定	PST	過去
CONT	継続	Q	疑問助詞
COP	コピュラ	QUOT	引用
CSL	理由	RECP	相互
DAT	与格	REFL	再帰
EMPH	強調	SEQ	中止
EXPL	例示	SFP	終助詞（疑問助詞はのぞく）
GEN	属格	TOP	主題
HCR	尊称	VBLZ	動詞化
HOR	勧誘	VOL	意志

#### 参考文献

- 稲垣正幸，清水茂夫，深沢正志編. 1957. 『奈良田の方言』甲府：山梨民俗の会.
- 上野善道. 1975. 「アクセント素の弁別的特徴」『言語の科学』6: 23-84.
- 上野善道. 1976. 「奈良田アクセント素の所属語彙」『文経論叢文学篇』11: 1-32.
- 上野善道. 1977. 「奈良田方言の基礎語彙」『文経論叢文学篇』12: 1-13.
- 上野善道. 1981. 「奈良田方言の基礎語彙2」『金沢大学文学部論集文学科篇』1: 63-92.
- 上野善道. 1989. 「日本語のアクセント」杉藤美代子編『講座日本語と日本語教育 2 日本語の音声・音韻（上）』178-205. 東京：明治書院.
- 国立国語研究所編. 1966-1974. 『日本語語地図』1～6集，東京：大蔵省印刷局.
- 国立国語研究所編. 1989-2006. 『方言文法全国地図』1～6集，東京：財務省印刷局.
- 国立国語研究所. 「日本語危機言語：日本の消滅危機方言の音声データを紹介するサイト 語彙データ」  
<http://kikigengo.ninjal.ac.jp/data/tango/search> (2023.12.09 閲覧)
- 小西いずみ. 2021. 「「方言の島」山梨県奈良田の言語状況」『文化交流研究』34: 87-94.
- 小西いずみ. 2022. 「山梨県奈良田方言の行為要求表現体系：命令と禁止の対称性に着目して」『国語と国文学』99 (5): 126-39.
- 小西いずみ，三樹陽介，吉田雅子. 2022. 「山梨県早川町奈良田」セリック・ケナン，木部暢子，五十嵐陽介，青井隼人，大島一編『日本の消滅危機言語・方言の文法記述』77-150. 東京：国立国語研究所言語変異研究領域.
- 清水茂夫. 1957. 「奈良田ことばの語法」稲垣正幸，清水茂夫，深沢正志編. 69-119.
- 地域資料デジタル化研究会. 2013. 『方言の島 奈良田のことば』(DVD)，甲府：地域資料デジタル化研究会.
- 西山村総合学術調査団編. 1958. 『西山村総合調査報告書』甲府：山梨県教育委員会.
- 吉田雅子. 2014. 「山梨県甲府市方言」方言文法研究会編『全国方言文法辞典資料集2 活用体系』53-65.

### 謝辞

奈良田方言をお教えくださった深沢實さん，深沢いさをさんに御礼申し上げます。本稿は JSPS 科研費 17K02777, 20H00015, 20K2070, 21K18376, 国立国語研究所共同研究プロジェクト「消滅危機言語の保存研究」「日本語・琉球語諸方言におけるイントネーションの多様性解明のための実証的研究」の助成を受けている。

執筆者連絡先：sakagami-t@g.ecc.u-tokyo.ac.jp（阪上），ymiki3@komazawa-u.ac.jp（三樹），

YQA01642@nifty.ne.jp（吉田），ikonishi@l.u-tokyo.ac.jp（小西）

原稿受理：2023年12月22日